



# FUJIFILM IWpro<sup>®</sup> エンハンス機能のご紹介

2026年3月

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

# はじめに

---

拝啓 貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、「FUJIFILM IWpro」の機能アップデートを行いましたので、新たに提供した機能について、ご紹介をさせていただきます。

今後ともお客様業務のデジタル化に貢献できるよう進化を続けてまいりますので、未永くFUJIFILM IWproをご愛顧いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

※本書の内容は2026年3月現在のものです。



## これまでの主な機能エンハンス

◆ 2026年3月までの機能エンハンス、変更等の履歴

# これまでの機能エンハンス履歴

2023年11月のサービス提供開始後、これまでご提供してきた主な機能エンハンスをご紹介します。

## ■ FUJIFILM IWproの主な機能エンハンス

★印の機能は本資料でご紹介しています。

リリース日	サービス	主なエンハンス内容
2023年11月5日	ワークスペース	• FUJIFILM IWpro提供開始 日本/アジアパシフィック/オセアニア 11か国でサービス提供を開始
	文書取り込み	• DocuWorks Cloudからサービス環境を移行
2023年11月20日	ワークスペース	• Smart Workstreamからサービス環境を移行
	ワークスペース	• 複数文書の一括属性更新(★)
2024年1月27日	文書取り込み	• パートナー企業向け拡張プラグイン提供開始
	ワークスペース	• kintone/Microsoft Teamsに対する複合機からのScan&Print連携機能「FUJIFILM IWpro Captureアプリ」提供(★)
	ドキュメント	• コメントと付箋のリンク、アノテーション機能強化(★)、デスクトップアプリケーション自動起動とチェックイン/チェックアウト機能提供(★)
2024年3月2日	プリント	• 文書群の2次元マトリクス表示機能(★)、文書一覧の表示フィルター機能提供(★)、文書の自動状態遷移(ライフサイクル管理)機能提供(★)
2024年3月20日	文書取り込み	• Cloud On-Demand Printからサービス環境を移行
2024年4月6日	文書取り込み	• CSVを利用した一括文書取り込み(★)、「取引日」読み取り精度向上、アップロードフォルダーのネットワークパス指定対応
2024年7月1日	複合機管理	• 初回ログイン時の利用規約、プライバシーポリシー同意確認表示開始
	文書取り込み	• 弊社特約店など国内販売チャネル拡大
2024年10月5日	ワークスペース	• プロジェクト別ジョブ集計(Account ID集計)機能提供(★)
	ワークスペース	• OneDriveに対する複合機からのScan&Print連携機能提供(★)
2024年12月9日	ワークスペース	• ワークスペース上で最大30階層のフォルダ階層作成機能提供(★)
	ワークスペース	• 管理メニュー:業務設定に、お客様自身で業務設定テンプレートを追加できるインポート機能提供(★)
2024年12月23日	ワークスペース	• 複合機アプリ「FUJIFILM IWpro 業務別スキャン」「FUJIFILM IWpro ファクス仕分け」を提供(★)
	文書取り込み	• 操作改善として、文書分割後の属性引継、複数文書の一括ロック/アンロック、属性一括CSV出力、マスターを利用した入力属性候補機能を提供
2024年12月23日	複合機管理	• OCR利用の属性抽出時の除外キーワード設定機能(★)、PrintユーザーがCaptureアプリを利用してスキャン登録する際のOCR利用設定を追加(★)
	プリント/複合機管理	• 集計期間設定に「月別集計(締めデータ使用)」設定を追加提供(★)
2025年1月20日	ワークスペース	• プリントおよび複合機管理で機器登録等に利用するFUJIFILM IWpro Device Setupアプリに疎通確認やプロキシ設定を事前チェックするネットワークチェック機能を提供
	ワークスペース	• 新オプションとして「FUJIFILM IWpro Intelligent Assistantオプション」を提供(★)
2025年2月17日	ワークスペース	• ZIPファイルの展開・圧縮機能(★)、テキストファイル(.txt/.csv)ファイルの編集機能(★)、複数文書の確認訂正機能(★)、トレイを利用した属性自動設定
	文書取り込み	• ワークスペース上に配置できる付箋機能を提供(★)
2025年3月24日	ワークスペース	• Box/Google Driveに対する複合機からのScan&Print連携 (FUJIFILM IWpro Captureアプリ/FUJIFILM IWpro 業務別スキャン/ FUJIFILM IWpro ファクス仕分け)
2025年5月26日	ワークスペース	• 業務設定:電帳法対応設定の簡略化、ワークスペース上の各種操作にカーソルキーやショートカットキー等のキーボード操作を提供
2025年5月26日	ワークスペース	• ワークスペース上の文書を外部に公開する文書公開URL機能を提供(★)
	文書取り込み	• Dropbox/SharePointに対する複合機からのScan&Print連携 (FUJIFILM IWpro Captureアプリ/FUJIFILM IWpro 業務別スキャン/ FUJIFILM IWpro ファクス仕分け) (★)
2025年6月16日	ワークスペース	• Printライセンズでスキャン登録を利用した場合の利用上限数に対するメール通知機能を提供
2025年7月22日	ワークスペース	• 社外や取引先との協働作業を促進する「コラボレーション」機能を提供(★)
2025年9月24日	アナリティクス	• 過去のデータから将来の需要を予測する分析タイプ「需要予測」を提供(★)
	文書取り込み	• AI技術を利用したOCR機能「FUJIFILM IWpro Intelligent Data Captureオプション」提供開始
2025年12月15日	ワークスペース	• ワークスペース上の文書に「明細属性」機能を提供
	ワークスペース	• Web UIデザインを一部変更(★)、富士フイルムBIダイレクトを利用した複合機認証機能を提供(★)
	アナリティクス	• アクセスユーザーのアイコン表示機能を提供(★)
2026年2月9日	アナリティクス	• 分析メニュー「需要予測」でイベントの有無や割引率等を加味することができる学習・推論機能を提供
	複合機管理/プリント	• 明細抽出項目の追加および明細抽出項目の有効化設定機能を提供(★)
	ドキュメント	• 複合機操作パネルからの機器登録とアプリインストール機能を提供(★)
	ワークスペース	• ドキュメントキャビネットの容量/登録件数のアラート通知機能を提供(★)
2026年3月2日	ワークスペース	• 確認訂正画面等の整数/小数型属性数値の右寄せ3桁区切りの表示機能を提供(★)
	ワークスペース	• 生成AIを利用した対話型検索機能「AIチャット機能」を提供(★)

FUJIFILM、FUJIFILM ロゴ、およびFUJIFILM IWproは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。  
本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。  
本書の内容および各機能紹介ページで利用している画面イメージは提供当時のものです。



## 2023年11月20日リリース

- ◆ 複数文書の一括属性更新

# ワークスペース：複数文書の一括属性更新

- ワークスペースでは、格納された文書に属性を設定することが可能です。  
この属性の一括設定や更新が可能になりました。

- 属性設定

ワークスペース全体で共通利用できるテキストや数値などの管理用の属性を最大200個まで利用可能です。  
属性は、ワークスペース上の文書に、個別あるいは一括で付与できます。

- 属性を利用して検索表示

属性は、ワークスペース内での検索や表示、並べ替えなどに利用できます。

- 属性の引継

文書取り込み機能の属性や文書管理のカスタム属性と名前を一致させておくことで、情報の引継ぎにも利用できます。

## ワークスペースの属性

ワークスペース

注文書処理用ワークスペース

属性を使って文書のステータスや担当をすぐに確認

サ...	ステータス	注文日	担当者	取引先名
226...	納期回答済	2023/10/25 00:00	富士次郎	B社
199...	登録済	2023/10/30 00:00	田中次郎	C社
199...	未処理	2023/11/07 00:00	富士次郎	D社
199...	未処理	2023/11/08 00:00	富士次郎	E社

ワークスペースで利用できる属性の型

- ・文字列
- ・日時
- ・小数
- ・整数
- ・ユーザー/グループ
- ・真偽値

ダウンロード

プロパティに入れておけば  
取り出し後も情報を確認できる

文書のプロパティ

概要 セキュリティ フォント 開き方 カスタム 詳細設定

カスタムプロパティ

名前(N):

値(ダウンロード後も情報を引き継ぎ)

名前	値
文書種別	契約書
契約者(甲)	〇〇〇株式会社
契約者(乙)	株式会社〇〇〇
契約書の日付	2021年2月4日
契約書のタイトル	契約書
事業者番号	0000002

システム共通だから、  
作業者による入力の  
「ブレ」も防止します

確認訂正の画面

※ワークスペースの属性は、  
事前にサービス管理者以上の  
権限保有者が作成します。

## 2024年1月27日リリース

- ◆ 複合機からkintone/Microsoft Teamsに対するScan&Print連携
- ◆ コメントと付箋のリンク、アノテーション機能強化
- ◆ デスクトップアプリケーションの自動起動とチェックイン/チェックアウト機能
- ◆ 検索結果の2次元マトリクス表示機能
- ◆ 文書一覧の表示フィルター機能
- ◆ 文書の自動状態遷移(ライフサイクル管理)機能

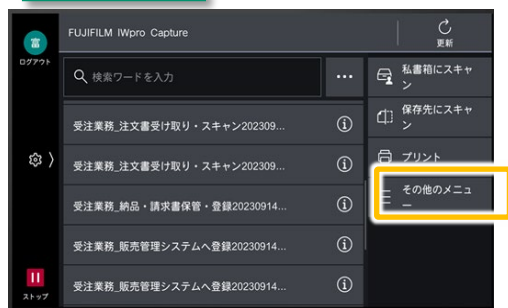
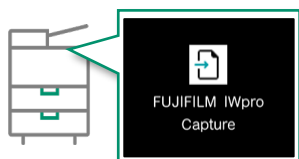


# 文書取り込み：複合機からkintone/Microsoft Teamsに対するScan&Print連携

■ 複合機パネルからご利用中のkintone/Teams環境にアクセスし、文書のスキャン登録やプリントが行えます。

※「FUJIFILM IWpro Captureアプリ」については、本書P15・P24・P36もご覧ください。

## kintone/Teamsへ文書をスキャン・プリント



- 複合機パネルで「FUJIFILM IWpro Capture」アプリを起動。
- その他のメニューを選択。
- 利用するサービス(kintone/Teams)と機能(スキャン/プリント)を選択。



- kintoneの場合はアプリまたはレコード、Teamsの場合はチャネル一覧が表示されます。
- スキャン文書格納先として、新規レコードやフォルダーの作成が可能。



- スキャン時はファイル名/フィールド値の変更、メンション設定が可能。
- スキャン・プリント機能の各項目も変更可能。

スキャン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイル名(初期表示)：yyyymmddhhmmss_ログイン名 (キーボード入力での任意の設定も可能。最大60文字)</li> <li>• 原稿セット向き：読める向き、左向き</li> <li>• パラメータ：フォーマット変換 PDF/PDF(OCR変換)/DocuWorks/DocuWorks(OCR)変換/TIFF(マルチページ)</li> </ul>
プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 部数：1~999部</li> <li>• 出力用紙サイズ：原稿サイズと同じ</li> <li>• 印刷できるファイル：.pdf、.xdw、.tif/.tiff、.doc/.docx、.xls/.xlsx、.ppt/.pptx</li> <li>• 印刷パラメータ：部数、縮小拡大、カラーモード、nアップ、両面</li> </ul>

※スキャン操作時に編集できるフィールドには制限があります。

※kintoneのレコードへスキャン文書を添付するには、予め文書添付フィールドを作成する必要があります。

# ワークスペース：コメントと付箋のリンク、アノテーション機能

## ■ ワークスペースでは、参加メンバー間の協業の支援のために、文書に対する「コメント」というチャット形式のコミュニケーション履歴を残すことができます。

### ● チャット形式のコミュニケーション履歴

コメントは文書単位にチャットのように書き込むことが可能で、ワークスペースのメンバーが同じものを参照できます。チャット形式なので、誰でも簡単に書き込みが可能で、円滑なコミュニケーションが可能です。

### ● 付箋とのリンク

コメントは文書の作成やレビュー中のコメントなどを残しておくことで、作成に至るまでの履歴としても利用することができます。また、文書上に付けた付箋にリンクしたコメントして、指摘やメモをピンポイントで残しておくことも可能です。

## 文書の上でチャット形式のコミュニケーション

クイックビューから起動

業務委託契約書

本業務委託契約書(以下「本契約」という。)は、Food Happy 株式会社(以下、甲という。)と株式会社 Cloud HP Design(以下、乙という。)との間で締結された。

本契約書記載の約定及び権利義務を約因として、本契約の両当事者は、以下のとおり合意する。

**第1条 サービス**

1. 本契約の有効期間中、乙は、製品の販売促進を目的として甲のために次のサービスを提供する。  
ウェブ制作及びウェブサイトの制作に関するその他の業務
2. 乙は甲の指示に従うものとする。業務内容の変更については、両当事者の合意に基づき行う。
3. 乙は甲から指示された場所上記のサービスを行う。乙の業務時間は全営業日における午前9時から午後5時までとする。
4. 甲は、その数量に基づき、乙の業務時間の変更を提案することができるが、乙は掛かる変更を了承するものとす。

受注業務 便利ツール タスク01

注文書の取 注文書を表 納期回答 文書保管  
出し 示確認

コメント 日付印 日付入り文字印

契約書

〇〇株式会社(以下、甲という。)および 株式会社〇〇〇(以下、乙という。)は、以下のとおり契約します。

**第1条**  
本契約は、甲および乙が保有する情報を相互に開示する場合における、情報の範囲ならびに情報にアクセスできる者の範囲、義務および責任等を定めます。

**第2条**  
1. 書面とは、紙または電磁的記録媒体であって、情報が記録されたものをいいます。  
2. 交付とは、書面を手交、郵送または電磁的通信手段(電子メールまたはファクシミリ等)によって相手方に引き渡すことをいいます。

**第3条**  
1. 甲および乙は、相手方が次条の定めに従って情報を受領したときは、これを相手方の情報として、本契約の定めに従って取り扱うものとします。ただし、次の各号のいずれかに該当する情報は除くものとします。  
(1) 開示を受ける前に公知であった情報  
(2) 開示を受けた後に情報受領者の責めによらず公知となった情報  
(3) 開示を受ける前にすでに保有していた情報  
2. 甲および乙は、各々プロジェクトの責任者(以下、管理責任者という。)を定めます。  
3. 甲および乙は、管理責任者を通じて情報を授受するものとします。

**第4条**  
本契約に定めのない事項または本契約の条項の解釈につき疑義を生じたときは、甲乙書面にもとづき誠実に協議の上これを決定し、書面で確認するものとします。

以上、本契約締結の日として本書2通を作成し、甲乙記名捺印の上各1通を保有します。

2023年9月1日

甲 神奈川県横浜市西区みなとみらい0丁目0番0号  
〇〇株式会社  
高橋 太郎

田中 花子 2023/09/20 15:07  
富士 太郎  
契約書ドラフトを作成しましたので、ご確認をお願いします。

富士 太郎 2023/09/20 15:08  
田中 花子  
契約日を2023年10月1日に修正してください。

返信

コメント

チャット形式で、みんなが同じものを見てコミュニケーション!! 履歴としての確認も可能

※文書コメントは、ワークスペース上に存在する文書にのみ保存されます。  
ワークスペース以外の文書管理領域に登録したファイル、他システムやローカルPCへのダウンロードファイルには残りません。



# ワークスペース：デスクトップアプリケーションの自動起動とCheckOut/CheckIN

■ クライアントPC専用のツール「FUJIFILM IWpro Tools」を利用することで、ワークスペースをさらに便利にご利用いただけます。

● **デスクトップアプリケーション起動**

ワークスペース上のファイルのチェックアウト操作により、ローカルPCのデスクトップアプリケーションが起動

● **自動チェックアウト/ チェックイン**

FUJIFILM IWpro Toolsでデスクトップアプリケーションを起動すれば、ローカルPCへのダウンロードやアップロード操作が不要。さらに自動でチェックアウト/チェックインが行われます。

● **PCデスクトップにポップアップ通知**

ブラウザを開いていない時でも、私書箱やトレイへの文書登録などをPC画面にポップアップでお知らせ

## FUJIFILM IWpro Tools を利用したファイル編集

**デスクトップのアプリケーションで改訂編集**

**ポップアップ通知**

**FUJIFILM IWpro Tools**

- 文書を更新するためには、ファイルをダウンロード(+ファイルにロック)して、PC上のアプリケーションで編集し、再度新バージョンファイルのアップロードが必要ですが、本ツールを利用すれば、オフィス文書のチェックアウト操作(ファイルダウンロード+ロック)と、アプリケーション終了時のチェックイン(新版アップロード)が自動で実行されます。
- ワークスペースにアクセスしていない場合、私書箱やトレイへの格納に気づけない場合があります。
- 本ツールを利用すれば、FUJIFILM IWpro にアクセスしていないときでも、PC画面上にポップアップでお知らせを受けられます。また過去の通知履歴も参照可能が可能です。

※ FUJIFILM IWpro Toolsは、ワークスペース起動時やチェックアウト実行時に、自動でインストールがナビゲーションされます。



# ドキュメント：文書一覧/検索結果のフィルター表示

■ 対象の文書数が多い中から目的の文書を探し出しやすくするため、属性やタグの値を利用して検索結果を絞り込むフィルター機能を提供します。これにより、条件をいろいろ変えながら、簡単に情報を探すことができます。

## ● フィルター条件

フィルター条件として、4つの属性フィルター「更新日時」「更新者」「文書種別」「ファイルフォーマット」と、「タグ」に対するフィルターの合計5つのフィルターを提供します。 ※フィルター条件項目は固定で、追加変更はできません。

**[更新日時]**  
指定なし (選択済み)  
今日  
昨日と今日  
過去1週間  
過去1か月  
過去6か月  
過去1年  
日付を指定  
から  
まで  
キャンセル OK  
プレ設定と自由な日付、期間設定が可能。

**[更新者]**  
指定なし  
キーワード  
富士太郎 (自分)  
富士次郎 (選択済み)  
山田太郎  
山田次郎  
富士五郎  
富士花子  
キャンセル OK  
最終更新回数の多い上位10名からの選択と名前検索による設定が可能。複数名の設定が可能。

**[文書種別]**  
指定なし (選択済み)  
見積書  
注文書  
納品書  
請求書  
契約書  
注文請書  
検収書  
領収書  
申込書  
キャンセル OK  
キャビネットに設定されている文書種別から選択が可能。複数選択が可能。

**[ファイルフォーマット]**  
指定なし  
DocuWorks  
Microsoft Access  
Microsoft Excel  
Microsoft Power... (選択済み)  
Microsoft Project  
Microsoft Publi...  
Microsoft Visio  
Microsoft Word  
一太郎  
CADファイル  
PDFファイル  
XPSファイル  
圧縮ファイル  
画像ファイル  
テキストファイル  
電子メールファ...  
リッチテキスト...  
キャンセル OK  
複数選択が可能。

**[タグ]**  
タグを検索  
A社 B社 仕掛中  
製造業 急ぎ 大手企業  
C社 D社 E社 F社  
製造業 中小企業  
キャンセル OK  
設定件数の多い上位20個のタグを表示。ユーザーが検索したタグの設定も可能。複数選択が可能。

ツリー / 開発用キャビネット / 開発ドロー-001 / A社  
一括 作 フォルダー作成 アップロード 検索  
更新日時 更新者 文書種別 ファイルフォーマット タグ  
No. 名前 操作 更新... 更新者 作成者  
1 NEW pdfsam... 2022/0... 富士 A男 富士 A  
2 NEW pdfsam... 2022/0... 富士 A男 富士 A

文書一覧および検索結果のメニューにフィルターボタンを追加しました。フィルターで見つからない場合は、検索ボタンを利用して、詳細な検索を行うことも可能です。





## 2024年3月20日リリース

◆ CSVを利用した一括文書取り込み

# 文書取り込み：CSVを利用した一括文書取り込み

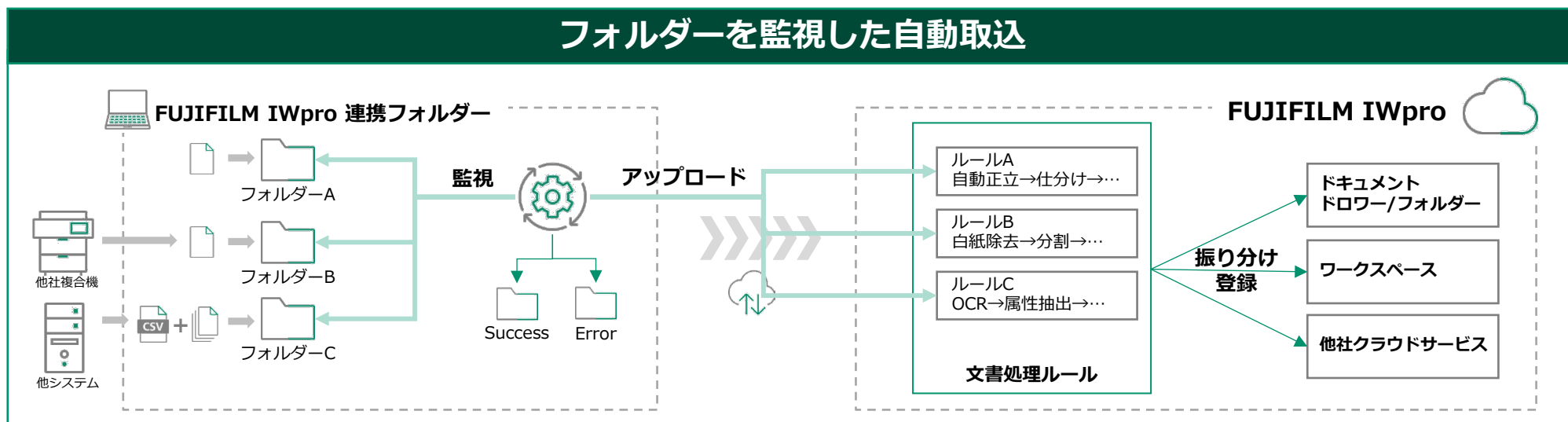
■ FUJIFILM IWpro 連携フォルダーを利用することで、特定のローカルフォルダーを監視し、登録された文書を入力として文書処理ルールを実行して登録することができます。

● 他システムからの出力を取込み

他社機でのファクス/スキャンからの自動取込みや、他システムから出力されるデータを自動で取り込む際に有効です。

● CSVを利用した一括取り込み

登録先や付与する属性を記述したCSVと登録用文書ファイル(複数可)を利用して、FUJIFILM IWpro ドキュメントのドロワー/フォルダーに属性を付与して登録することができます。



- 監視対象フォルダーに格納されたファイルを、順次処理(更新日時順)します。
- 各フォルダーの処理は前のフォルダー処理完了後10秒(変更可能)のインターバルで次のフォルダーの処理に移ります。
- 監視対象にネットワークパスも指定が可能です。(NAS上のフォルダーは対象外)
- 正常にルールが終了した場合、対象文書をSuccessフォルダーへ移動します。(移動した文書を一定期間で自動削除も可能)
- 正常にルールが実行されない場合リトライします。(デフォルトで10秒間隔に5回)リトライでも処理が成功しない場合は、対象をErrorフォルダへ移動します。

- フォルダーごとにルールを1つ設定できます。
- ルールは連携フォルダーのユーザー情報で起動します。
- ルール設定はエクスポート/インポートが可能です。
- ルール処理の異常を検知した場合、指定ユーザーにメールで通知します例：ユーザー情報の有効期限切れなど
- 「ローカルPCの文書を出力」のルールテンプレートと合わせて使用することで、CSVの情報を文書に属性として付与することが可能です。



## 2024年7月1日リリース

- ◆複合機からOneDriveへScan&Print連携
- ◆プロジェクト別ジョブ集計(Account ID集計)機能



# 文書取り込み：複合機からOneDriveへScan&Print連携

- 複合機パネル上の「FUJIFILM IWpro Captureアプリ」から、ご利用中のOneDriveに対して、登録先フォルダーを指定したスキャン登録や検索した文書ファイルのプリントなどが可能です。

※「FUJIFILM IWpro Captureアプリ」については、本書P6・P24・P36もご覧ください。

- **スキャン登録**

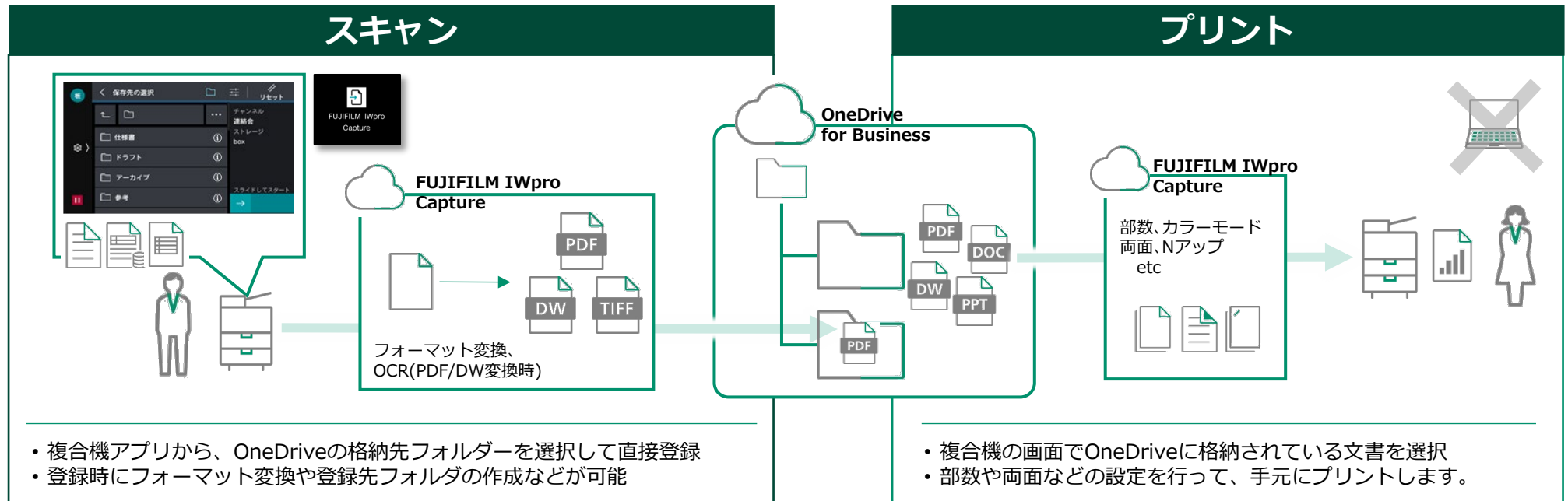
複合機でスキャンした文書をOneDriveのストレージサービスに直接登録することができます。

登録時は、複合機上の画面でストレージサービスのフォルダー階層をたどり、目的のフォルダーに直接登録することができます。登録先のフォルダーが見つからない場合、フォルダー名で検索してフォルダーを見つけることも可能です。また、適切なフォルダーが無い場合、新しいフォルダーを作成してその配下に登録することが可能です。

- **プリント**

OneDriveに格納されている文書を選択してプリントすることができます。

複合機上の画面でOneDrive上の文書を選択してプリントします。目的の文書が見つからない場合はファイル名で検索して、検索結果の中から目的の文書をプリントすることも可能です。

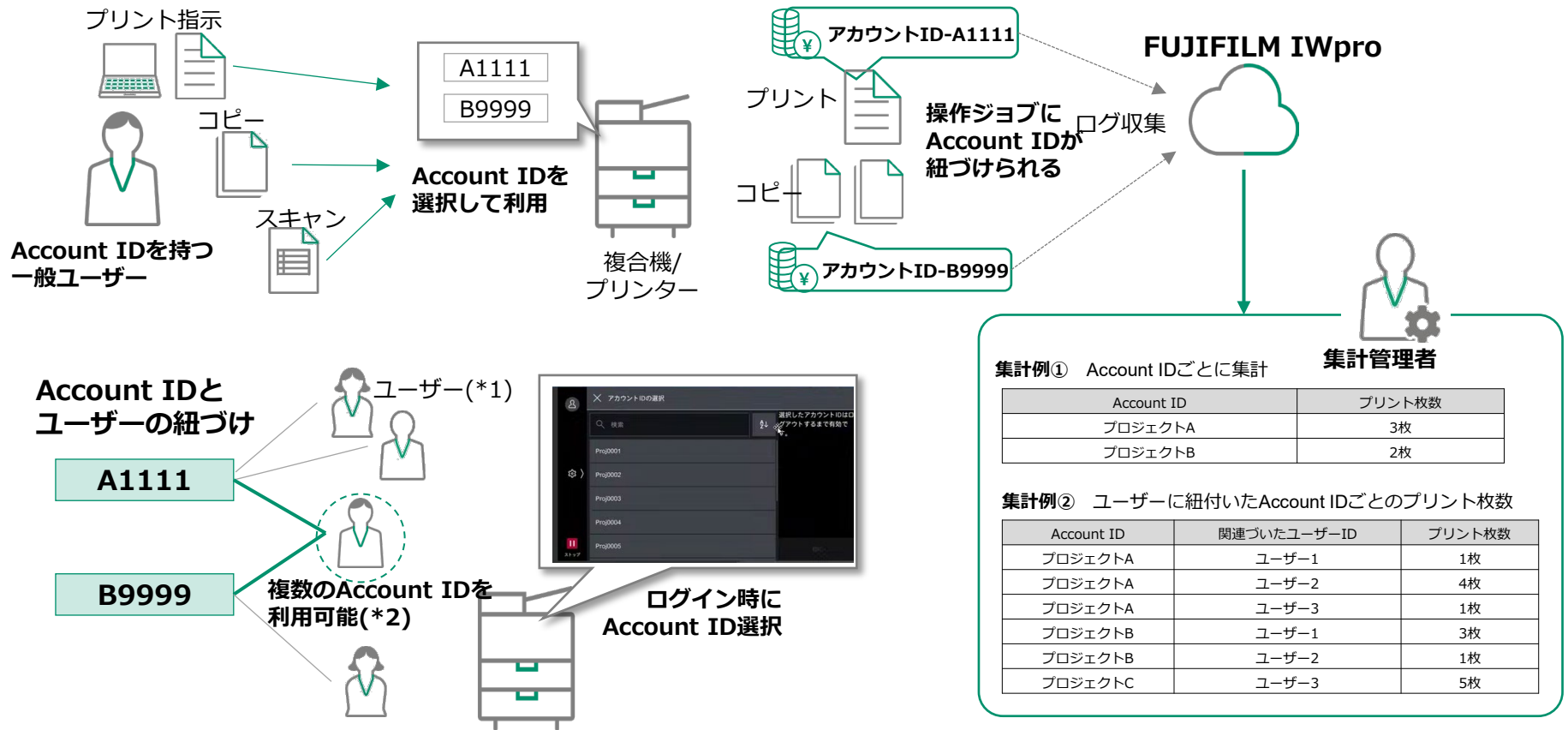


※登録やプリントを行う場合、フォルダーや文書に対する必要なアクセス権限などが必要です。  
※スキャン登録、プリント出力時の設定は、kintone/Teamsに対するScan&Print連携と同等です。



# 機器管理：プロジェクト別ジョブ集計(Account ID集計)機能

- FUJIFILM IWpro複合機管理で、プロジェクト別の費用負担用コード(Account ID)を利用した複合機の印刷やコピー、スキャンなどの操作ジョブを、一括して管理・集計することができるようになりました。これにより、費用付け替え先のAccount IDを選択してプリントなどの操作をすることで、コストが独立するプロジェクトや案件などに複合機の費用を個別に付け替えるための集計ができるようになります。



※本機能は、集計用属性のAccount IDをジョブ毎に選択可能にする機能です。出力枚数上限設定(減数カウント)、カラー/モノクロ制限などの機能はありません。

※本機能は、本体認証/ネット集計の場合のみ利用可能です。

※複数のAccount IDを持つ場合、ログイン時にAccount IDの選択が必要です。Account IDを切り替える場合、一旦ログアウトして、再度Account IDを選択してログインしてください。

※本機能を利用するには、テナント登録されている全ての複合機の搭載プラグインがVer2.2.4以降になっている必要があります。未対応の複合機が存在している場合、未対応複合機のプラグインを最新版にアップデートして、全ての複合機を利用可能にしてから、機器管理>管理機能の詳細設定で[Account IDで集計する]をオンに設定してください。



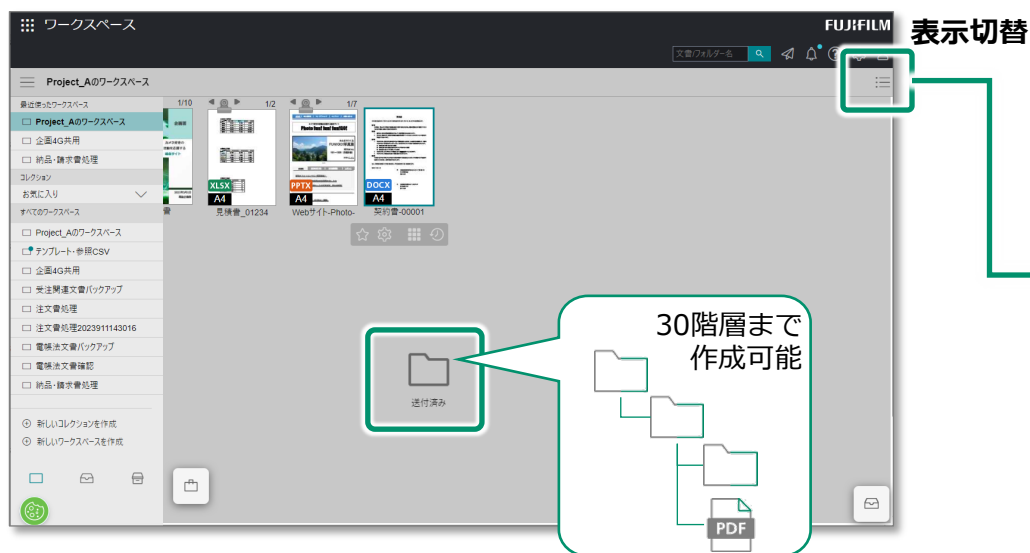
## 2024年10月5日リリース

- ◆ワークスペース上で最大30階層のフォルダ階層作成機能
- ◆管理メニュー:業務設定に、お客様自身で業務設定テンプレートを追加できるインポート機能

# ワークスペース：フォルダー階層機能

- ワークスペースでは、作成した文書を保管することができます。保管文書は、フォルダーを作成し複数の文書を1つにまとめて保管することも可能です。従来の1階層のフォルダーから、最大30階層までフォルダ階層を作成できるようになりました。これにより、ワークスペース上の文書の振り分けや整理保管が容易になります。

## サムネイル表示



## リスト表示



リスト表示時は、「請求書/2024年度/9月分」のような階層順にリンクをリスト化して表示する「パンくずリスト」として、リスト一覧の上部に表示します。

- フォルダー階層作成機能の提供とあわせて、一部操作性の改善を行いました。

- ・ 誤操作防止の、属性のクリアボタンをなくしました。



※属性のクリア操作は可能です

チェックボックスの選択可能エリアを緩和して操作ミスを軽減しました

Ctrl や Shift キーと一緒に押せば、行のどこをクリックしても選択できるようになりました





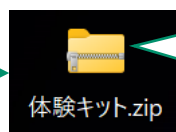
# ワークスペース：業務設定テンプレートの追加インポート機能

- **ワークスペース管理メニュー：業務設定画面で、新しい業務設定をお客様自身で追加することができるようになりました。業務設定ファイルを追加インポートすれば、面倒な設定作業を簡略化して環境設定を行うことができます。**業務設定を行うための「業務設定ファイル」は、弊社公式ホームページの「FUJIFILM IWpro活用ライブラリー」の活用レシピなどから提供しており、今後も追加していく予定です。

## 活用ライブラリーからのご提供イメージ

The screenshot shows the '活用ライブラリー' (Usage Library) page. It features a header with navigation tabs, a main content area with a featured article about '月末に集中する月600件の請求書支払業務' (Monthly 600 bills payment concentrated at the end of the month), and a section titled 'すぐに体験できること /' (What you can experience immediately /). At the bottom of this section, there is a prominent orange button labeled '体験キットをダウンロード' (Download Experience Kit).

活用レシピの「体験キット」をダウンロード



## 体験キットの提供例

- ・ **体験手順書**：環境設定や設定ファイルの使い方マニュアル
- ・ **サンプルファイル**：体験使用できる帳票やcsvデータファイル
- ・ **業務設定ファイル**：インポート用パラメータファイル

## ワークスペース管理メニューの業務設定画面から業務設定ファイルをインポート

The screenshot shows the 'ワークスペース' (Workspace) management interface. The left sidebar lists various settings like '業務設定', 'テナント設定', 'ワークスペース', etc. The main area is titled '業務設定' (Business Settings) and contains instructions for setting up workspaces. A green callout box highlights a section titled '追加インポート用メニュー' (Additional Import Menu), which includes a 'ファイルを読み込んで設定' (Load file and set) option and an 'インポート' (Import) button.

同様の属性設定などがすでに存在した場合でも、自動的に設定をスキップしますので、複数の設定ファイルを活用することが容易です。



## 2024年12月9日リリース

◆複合機アプリ「FUJIFILM IWpro 業務別スキャン」「FUJIFILM IWpro ファクス仕分け」を提供



# 複合機の電子化利用を強化するアプリ : FUJIFILM IWpro 業務別スキャン

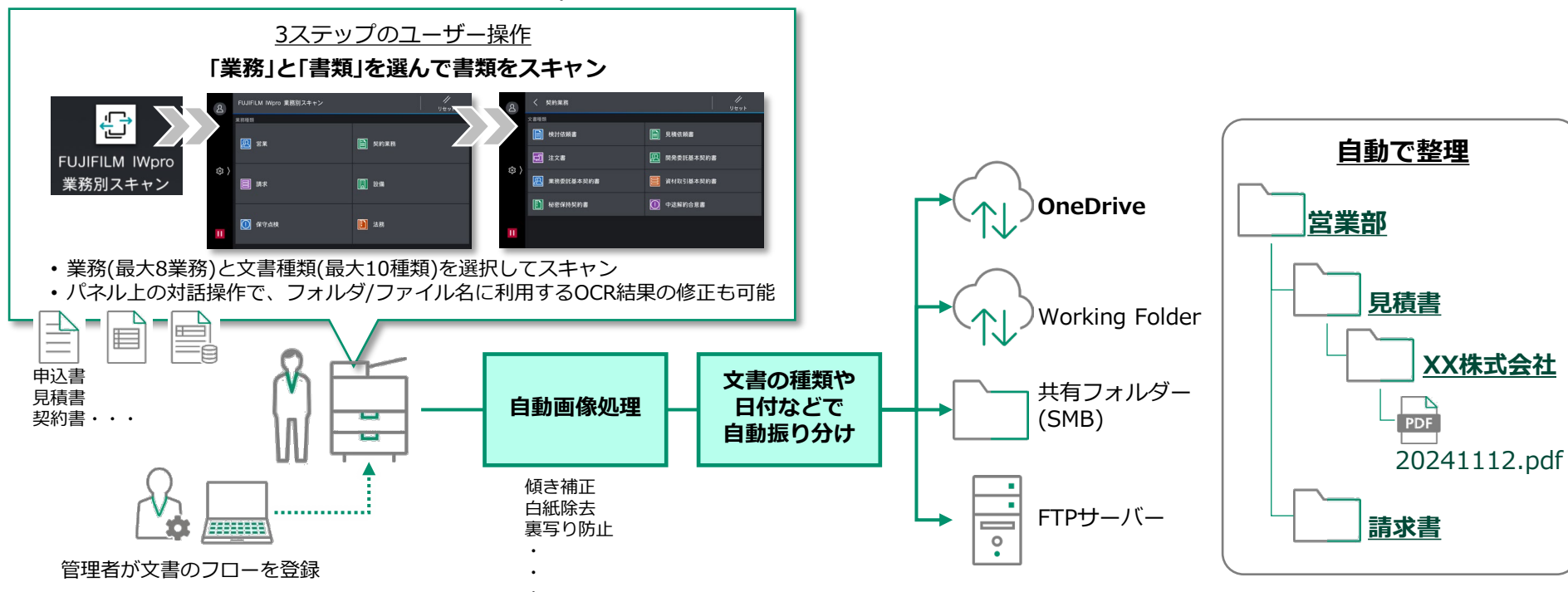
■ 複合機を起点にした文書の電子化を促進するため、クラウドサービス連携を強化した複合機向けアプリを提供しました。「FUJIFILM IWpro業務別スキャン」アプリは、既にご好評をいただいているApeosシリーズ複合機向けの追加型アプリケーション「業務別らくらくスキャン Pro」同等機能をベースにクラウドサービス連携を強化しています。

## ●FUJIFILM IWpro 業務別スキャン

複合機からのスキャン時に、業務の種類と文書の種類を選択するだけで、あらかじめ設定されたルールに従ってファイル名を付け、所定の保存先へスキャン文書を直接格納します。PCで取り出し格納する必要がなくなり、定型的なスキャン業務の作業効率が図れます。

## ●クラウドストレージへの格納

「業務別らくらくスキャン Pro」同等の機能に加え、スキャン文書の格納先としてクラウドストレージサービスOneDrive for Business\*1に直接登録することができます。 ※FUJIFILM IWproのワークスペース、ドキュメントキャビネット/ドロワーへの登録はできません。



※ 「FUJIFILM IWpro 業務別スキャン」は、FUJIFILM IWpro Standard/Light/Printライセンスを付与されたユーザーアカウントが利用できます。FUJIFILM IWpro Printライセンスで利用する場合、月間のスキャンファイル数に契約ユーザー数×100ファイルの上制限があります。

\*1 : OneDrive for Businessは別途契約が必要です。スキャン利用するユーザーアカウントのOneDriveへの登録設定が必要です。

OneDriveの登録先は、ユーザーアカウントの自分のフォルダ(自分および他者に共有したフォルダを含む)と他社から共有されているフォルダに対応しています。



# ペーパーレスファクス化を実現するアプリ : FUJIFILM IWproファクス仕分け

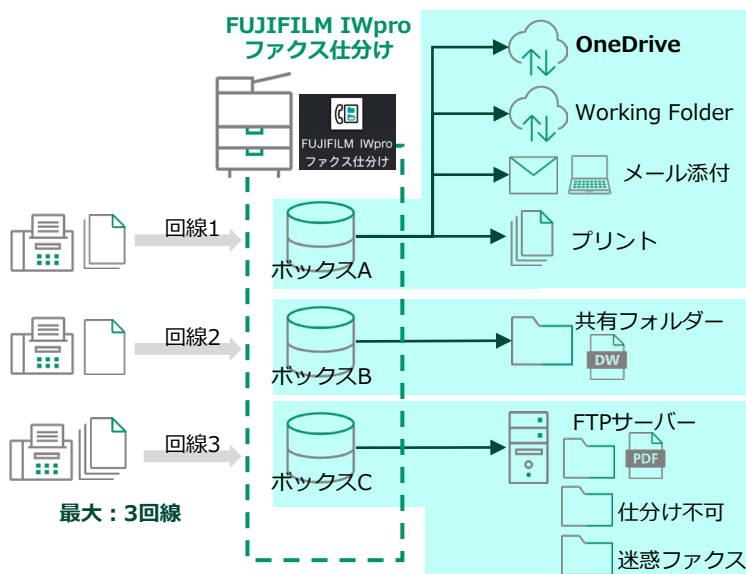
- 複合機を起点にした文書の電子化を促進するため、クラウドサービス連携を強化した複合機向けアプリを提供しました。「FUJIFILM IWpro ファクス仕分け」アプリは、既にご好評をいただいているApeosシリーズ複合機向けの追加型アプリケーション「ペーパーレスファクス仕分け」同等機能をベースにクラウドサービス連携を強化しています。複合機で受信したファクス文書を自動で仕分けて、文書をプリントすることなく、サーバーや共有フォルダーに転送したり、メールに添付して送信が可能です。

## ●受信ファクスの自動仕分け

転送するときに、ファクス番号などの受信情報や受信した日付で文書を仕分けることができます。ファクス受信は最大3回線まで可能で、回線ごとに最大2つの転送先とプリントの有無を設定が可能です。保存形式は、PDF/DocuWorks/TIFFを選択できます（PDF/DocuWorksはセキュリティ設定も可能）

## ●クラウドストレージへの格納

「ペーパーレスファクス仕分け」同等の機能に加え、受信文書の格納先としてクラウドストレージサービスOneDrive for Business\*1に直接登録することができます。 ※FUJIFILM IWproのワークスペース、ドキュメントキャビネット/ドロワーへの登録はできません。



仕分け方法	概要
番号	「電話番号」「G3ID」「ダイヤルイン番号」により仕分け
担当者	CSVで番号別に担当者を設定しインポートしておくことで仕分け
年月日	受信した年月日による仕分け
ファイル名に利用できるもの	ファイル名の生成例
受信日時	201707011300
宛先表登録名	富士フイルム
発信者番号	0312345678
G3ID	06-9876-5432
シリアル番号	111111
任意文字列	FUJIFILM IWpro

※ 「FUJIFILM IWpro ファクス仕分け」は、FUJIFILM IWpro Standard/Light/Printライセンスを付与されたユーザーアカウントが利用できます。

\*1 : OneDrive for Businessは別途契約が必要です。OneDriveに登録する際に利用するユーザーアカウントの登録設定が必要です。

OneDriveの登録先は、ユーザーアカウントの自分のフォルダ(自分および他者に共有したフォルダを含む)と他社から共有されているフォルダに対応しています。



## 2024年12月23日リリース

- ◆ OCR利用の属性抽出時の除外キーワード設定機能
- ◆ PrintユーザーがCaptureアプリを利用してスキャン登録する際のOCR利用設定を追加提供
- ◆ 集計期間設定に「月別集計(締めデータ使用)」設定を追加提供



# OCRスキャン機能の強化

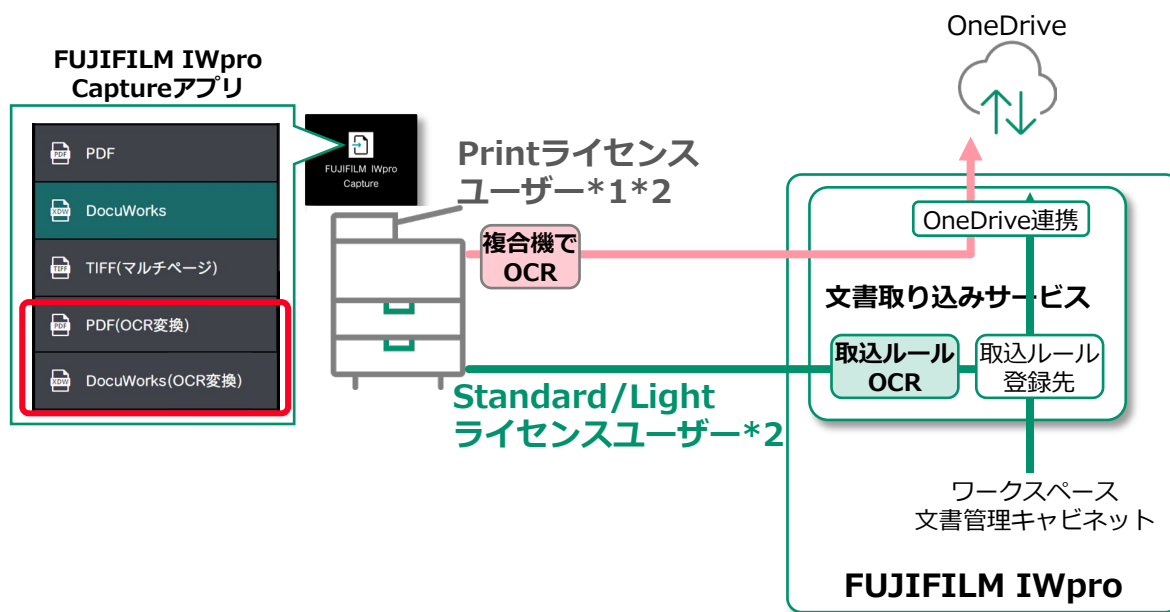
## ■ 帳票の取り込み精度を向上させるために、OCR機能を強化しました。

### ●OCR利用の属性抽出時の除外キーワード設定

- 属性抽出設定に「除外するキーワード」設定をすると、「除外するキーワード」に設定した値を抽出の候補から除外します。  
例：英文書類で「Total」「SUBTOTAL」が存在する場合、「TOTAL」の部分一致で「SUBTOTAL」を抽出しないように「SUBTOTAL」を除外
- 帳票判別にプリセットされたキーワードは除外できません。

### ●PrintユーザーがCaptureアプリを利用してスキャン登録する際のOCR利用

- Printライセンスが付与されたユーザーが、スキャン登録(OneDriveへ登録)時に複合機搭載のOCR機能\*1が利用できます。
- FUJIFILM IWpro Captureアプリを利用してOneDriveへ登録する際に、OCR変換機能\*2を利用できるようになりました。  
「PDF(OCR変換)」設置：PDF(サーチャブルPDF)に変換 「DocuWorks(OCR変換)」設定：DocuWorks (OCRデータ付)に変換



ライセンス	スキャン時のOCR利用	備考
Standardユーザー	○*2	サービス側でOCR
Lightユーザー	○*2	サービス側でOCR
Printユーザー スキャン拡張キット/ サーチャブルPDFキット あり	○*1*2	複合機でOCR
Printユーザー スキャン拡張キット/ サーチャブルPDFキット なし	×*1	

\*1：PrintライセンスユーザーがOCRを利用する場合は、利用する複合機にオプションの「スキャン機能拡張キット」または「サーチャブルPDFキット」が必要です。  
\*2：Standard/Lightライセンスユーザーが「PDF(OCR変換)」「DocuWorks(OCR変換)」を指定した場合は、複合機のOCR機能は利用せずに、FUJIFILM IWpro文書取り込み機能を利用してOCRを実行します。Printライセンス利用時とLight/Standardライセンス利用時では、利用するOCR機能が異なるため、同一文書でもOCR変換した文字の結果が異なることがあります。



## 月別集計時の締め日データ集計

- 複合機の使用量を集計する際に、従来の月末締め集計に加え、デバイス毎の締め日で集計できるようになりました。ユーザーや部門、拠点などで使用量を集計する際に、請求書と同一の締め日に合わせた集計が可能になります。
  - 複合機に設定した締め日の情報に基づいて、使用量の集計データを作成します。
  - 締め日は土日祝などの影響で月毎に変更することも考慮して自動算出し、集計します。
  - この設定を利用すれば、Device Log Serviceと同じ設定・集計が可能になります。

集計設定

表示の種類	集計期間/対象	表示アイテム	描画方法
集計データ種別	集計期間(データ取得日)		
<input type="radio"/> 日別集計	<input checked="" type="checkbox"/> 2024-11-30		
<input type="radio"/> 日別集計(日次データ使用)			
<input checked="" type="radio"/> 月別集計(締めデータ使用)			

対象集計ラベル: 集計ラベル1

対象ユーザー:  すべてのユーザー

対象機器:  すべての機器

対象AccountID:  すべてのAccountID

Buttons: 集計ラベルを選択..., ユーザーを選択..., 機器を選択..., AccountIDを選択..., キャンセル, この設定で集計

※ 月次集計(締めデータ使用)設定を利用すれば、Device Log Serviceと同じ設定・集計が可能になります。

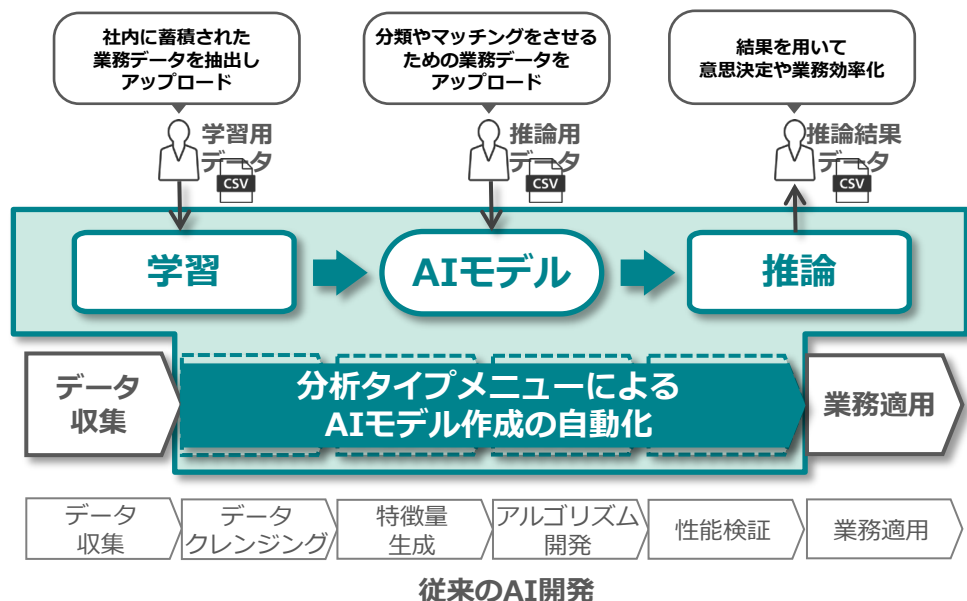


## 2025年1月20日リリース

- ◆新オプション「FUJIFILM IWpro Intelligent Assistantオプション」
- ◆ワークスペース上のZIPファイルの展開・圧縮、テキストファイル(.txt/.csv)ファイル編集機能、複数文書の確認訂正、トレイを利用した属性自動設定

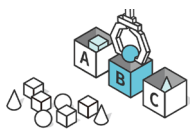


# FUJIFILM IWpro Intelligent Assistantオプション

- 新オプション「FUJIFILM IWpro Intelligent Assistantオプション」で提供するアナリティクス機能は、社内に蓄積されたさまざまなデータからAIモデルを作成します。作成されたAIを業務に適用することで、誰でもベテランやスペシャリストと同様な高度な業務処理の遂行が可能になり、お客様の業務効率化と生産性向上を支援します。
- 自社の業務データや問合せ履歴などの学習用データ(CSV形式)をアップロードし、目的別の分析タイプを選択することで、目的に応じたAIモデルを自動で作成します。
  - ・学習用データを入力して、必要事項を選択していただくだけの簡単な操作でAIモデルを作成できます。
  - ・専門知識が必要なデータ分析処理(データクレンジング\*1、特徴量エンジニアリング\*2など)がチューニング済の「分析タイプ」をメニューとして提供しています。
  - ・自社データのみでAIを構築するため、自社内で実績や裏付けのある高精度な回答が得られます。
  - ・ChatGPTなどインターネット上で提供されている生成AIと異なり、FUJIFILM IWpro内のクローズド環境で構築利用するので、情報漏洩のリスクはありません。



\*1 データクレンジング：データの品質を向上させるためにデータの粒度や表記方法を変換や統一する方法  
 \*2 特徴量エンジニアリング：予測精度を上げるための入力データの補正や加工を行う方法

■「分析タイプ」メニューの第一弾は下記の3つの分析タイプを提供。今後も順次追加予定です。

<b>分類</b>	<p><b>設定された属性ごとに、適切なカテゴリーに振り分けます。</b></p>  <ul style="list-style-type: none"><li>●ユースケース：コールセンターなどの問合せ対応業務 修理依頼や操作問合せなどの過去の問合せ対応実績に基づいて分類するAIを作成し、問合せ内容を適切なカテゴリーに分類し、最適な担当者に自動で振り分けます。 その他のユースケース：販促ターゲットの抽出、サービスの解約予測、など</li></ul>
<b>データ マッチング</b>	<p><b>2つのデータセットを比較し、一致または関連性の高い項目を見つけます。</b></p>  <ul style="list-style-type: none"><li>●ユースケース：受発注を担当する営業事務業務 社内の受発注システムで使用している商品名と、お客様注文書に記載された商品名との差異や表記ゆれなどを、過去の照合例を学習したAIを作成し、マッチング作業のスピードアップを図ります。 その他のユースケース：取引データの名寄せ、製品名・製品コードの紐づけ、など</li></ul>
<b>入金請求 突合</b>	<p><b>企業の略称や口座の違いなどを考慮した、最適な消込候補を提示します。</b></p>  <ul style="list-style-type: none"><li>●ユースケース：経理部門の入金消込業務 省略された企業名や同一企業の口座違いなどの過去の照合パターンを学習したAIを作成することで、最適な消込候補を提示することで、迅速かつ正確な入金と請求の照合・照会を支援します。</li></ul>



## ●特設サイトをオープン!!

「FUJIFILM IWpro Intelligent Assistantオプション」の提供開始に合わせて、FUJIFILM IWpro公式ホームページに特設サイトをオープンしました。

「Intelligent Assistantオプション」を紹介する動画や、さまざまな業務におけるユースケースとその導入効果、お試しトライアルなどご利用できる学習用・推論用サンプルデータなどをご提供しています。ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/fb/product/software/fbiwpro/intelligentassistant/>



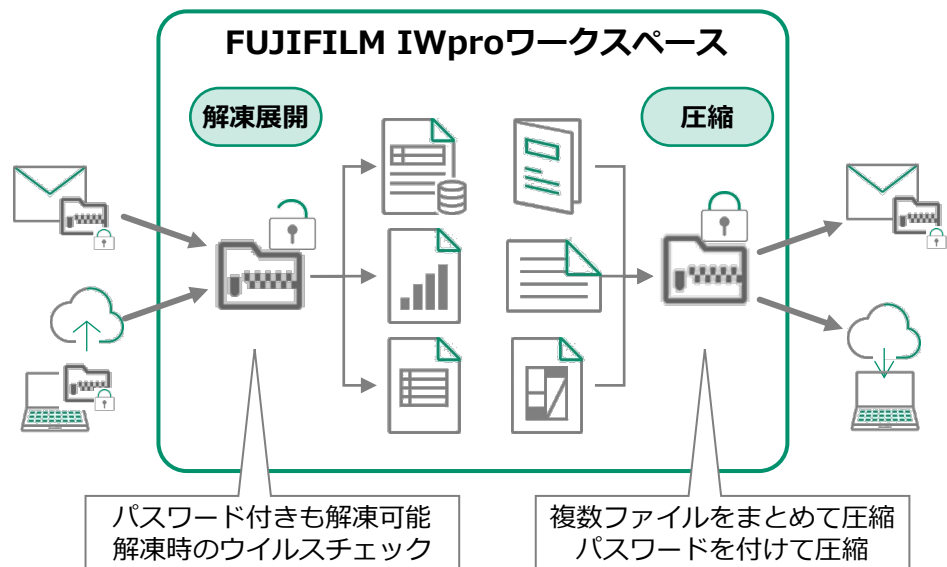
# ワークスペース：機能強化① Zipファイル展開・圧縮、テキストファイル編集

## ■ ワークスペース上でのファイル操作の強化として、zipファイルの展開・圧縮機能、テキストファイル編集機能を追加しました。

### ●zipファイルの展開・圧縮

ワークスペースでZIPファイルの展開と圧縮操作ができるようになりました。これにより、取引先から受け取った圧縮されたファイルの展開解凍、収集した複数のファイルを圧縮してまとめて送付することが可能になりました。

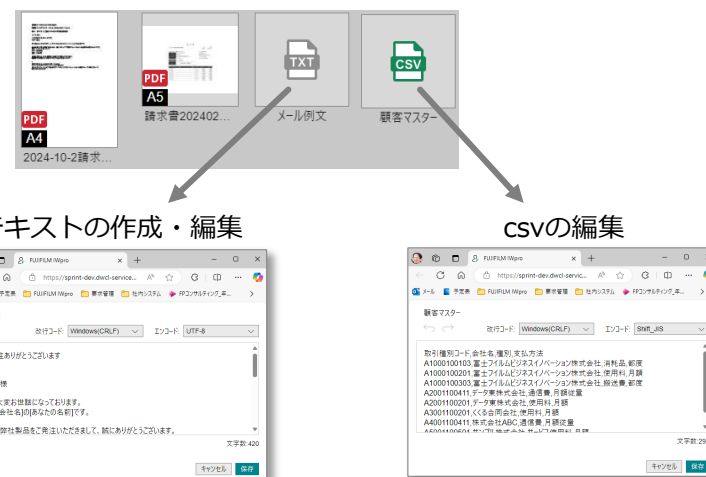
- 暗号化されたZipファイルのパスワード解凍展開、圧縮時のパスワード設定に対応
- セキュリティ対策として、ファイル展開時にウイルスチェックを実行



### ●テキストファイル(.txt/.csv)編集機能

ワークスペースのブラウザでテキストの作成・編集とcsvファイルの編集ができるようになりました。ワークスペース上のメンバーでメモを作成・共有したい、連携先にインプットするcsvファイルの修訂性などが可能です。

- テキストファイル(.txt)の新規作成と既存ファイルの編集が可能
- csvファイル(.csv)の編集、保存時の文字コード/改行コードの指定が可能 (Sift-JIS,UTF-8)



- ✓ ちょっとしたノウハウのメモ共有
- ✓ 問い合わせメールの回答案作成
- ✓ 参考とするWebページのURL など

- ✓ マスターデータの改訂
- ✓ 他サービスインプットデータ修正 など

※デスクトップアプリを利用した編集機能も従来通り利用可能です。  
 ※FUJIFILM IWproモバイルアプリ(iOS/Android)にも、シンプルテキストファイルの編集機能を提供しました。

## ワークスペース機能強化② 複数文書の確認訂正、他

- ワークスペース上での作業の利便性向上のために、複数文書に対する確認訂正機能、トレイを利用した属性設定機能を追加しました。

### ●複数文書に対する確認訂正

確認訂正作業の際に、複数の文書を選択して作業ができるようになりました。従来のように、都度文書を選択して確認訂正を行うのではなく、連続的に確認訂正ができるので、注文書や請求書などの受取確認を効率よく行えます。

- ・複数の文書を確認訂正画面で切り替えながら作業が可能

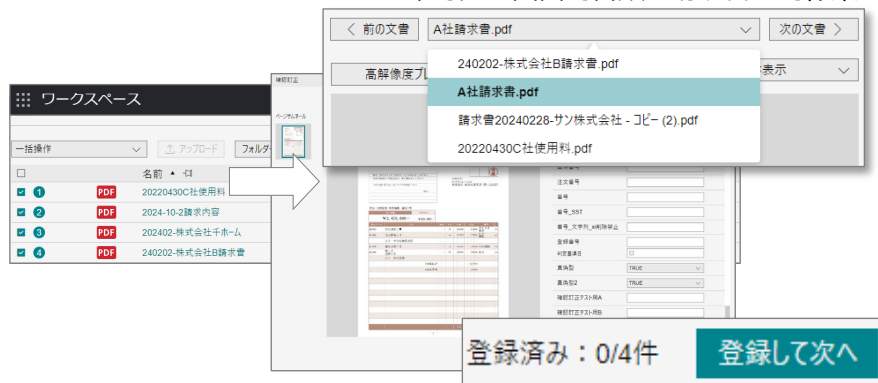
従来：「書類を開いて確認訂正・登録」を繰り返し



新機能：担当分の複数文書をまとめて開いて一気に確認訂正



確認訂正画面で書類を切り替えて作業



### その他の機能改善

#### ●複数文書に対するトレイの属性自動設定

属性自動付与を設定したトレイに対して、複数の文書を登録して、属性を一括付与できるようになりました。従来の1ファイル毎の属性付与作業を繰り返さなくても一度の操作で処理できるので、処理のスピードアップになります。

[属性設定タイミング]

- ✓ ユーザーがDrag & Dropで私書箱・トレイに文書を格納した時
- ✓ 「私書箱・トレイに送る」(コンテキストメニュー/クイックメニュー/タスクナビゲーションバー)ツールで文書がトレイに送信された時
- ✓ ルール実行後の出力先にトレイが指定されていた場合
- ✓ Captureツールによるスキャン/FAX文書の格納先にトレイを指定された場合
- ✓ API連携で「アイテムの送付」により送信先にトレイが指定された場合
- ✓ モバイルアプリでトレイに文書を格納する場合
- ✓ DocuSignの結果を自動格納する時

#### ●リスト表示件数のデフォルト件数変更

リスト表示件数のデフォルト件数を20件から100件に拡大しました。これにより、文書の一覧性が向上しました。

#### ●処理文書の選択維持

タスクナビゲーションバーで処理した文書の選択をそのまま維持して、連続作業効率を向上しました。



## 2025年2月17日リリース

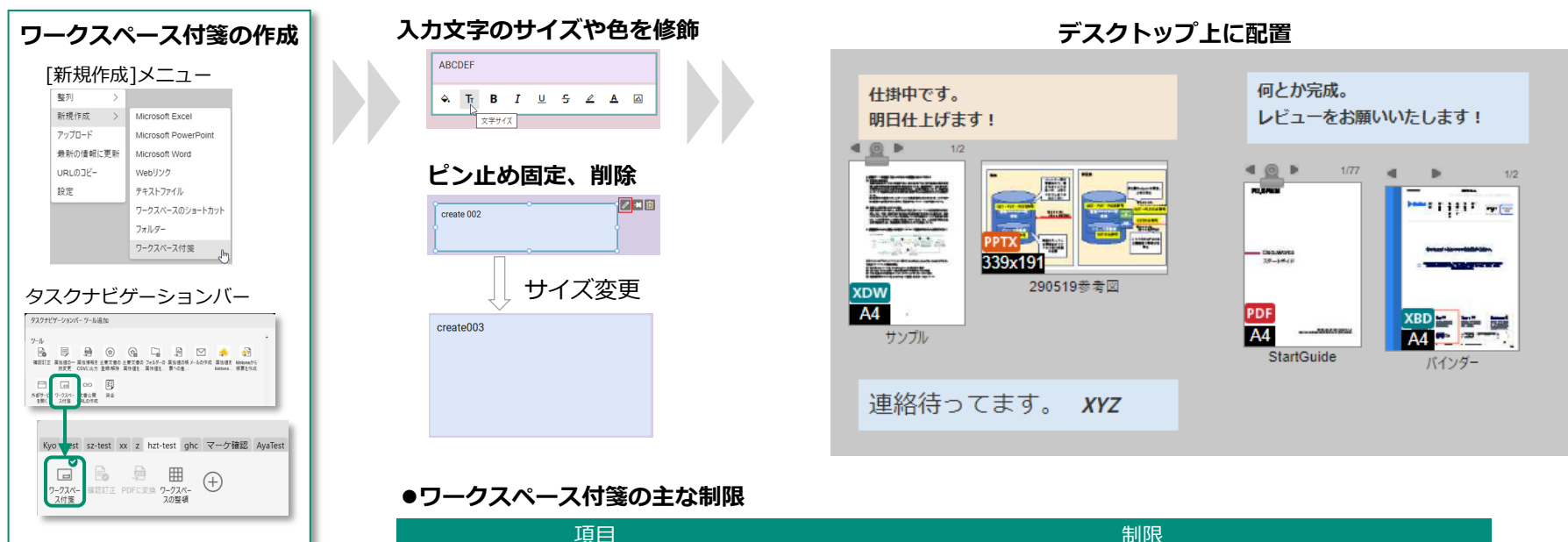
- ◆ワークスペース上に配置できる付箋機能「ワークスペース付箋」
- ◆複合機アプリ「FUJIFILM IWpro Captureアプリ」のBox/Google Drive連携対応
- ◆複合機アプリ「FUJIFILM IWpro業務別スキャン/ファクス仕分」のBox/Google Drive連携対応

# ワークスペース : ワークスペース付箋(ふせん)機能

- サムネイル表示で利用しているワークスペース上に貼り付けられる「ワークスペース付箋」機能を提供しました。ファイル群に対する説明やちょっとしたメモなどを、ホワイトボードや掲示板に貼り付けたポストイットや付箋のような感覚で利用することができ、メンバー間の連絡事項や情報などを手軽に共有することができます。

- ワークスペース付箋の主な特徴

- ・ ワークスペース上に付箋を貼り付けが可能(最大10個/ワークスペース)
- ・ 付箋上にサムネイル文書の配置が可能
- ・ 用途に合わせて、付箋の色、文字の修飾、イメージ画像の挿入、サイズ調整や貼付け位置の移動/固定が可能



- ワークスペース付箋の主な制限

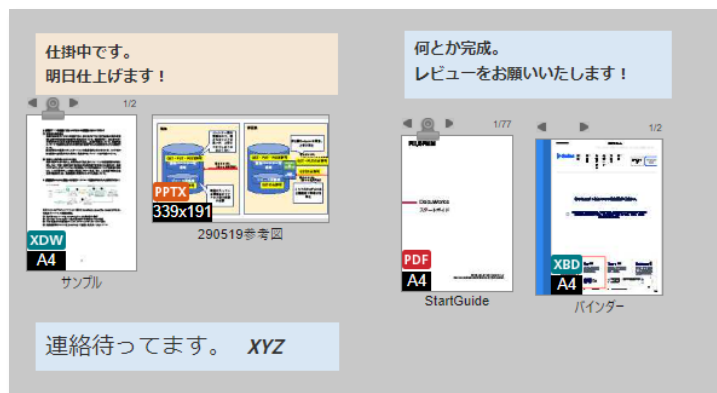
項目	制限
ワークスペース上に貼付可能な付箋数	1ワークスペースに最大10個
記入可能な文字数	1付箋あたり最大500文字
付箋サイズ	デフォルト : 幅362×高さ50ピクセル 最小 : 幅112×高さ40ピクセル 最大 : 幅930×高さ780ピクセル
付箋に挿入可能なイメージ	挿入数 : 1イメージのみ サイズ : 最大200×200ピクセル イメージ容量 : 120KB (最大50MBのアップロードファイルから生成) ファイル形式 : .bmp, .jpg/jpeg, .png

# ワークスペース：ワークスペース付箋(ふせん)機能

## ■ 付箋の使用例

フォルダーに入れてしまうと、都度フォルダーを開く手間や複数フォルダー内の一覧性はありませんが、ワークスペース付箋を利用して一時的な分類分けとして利用すると便利です。

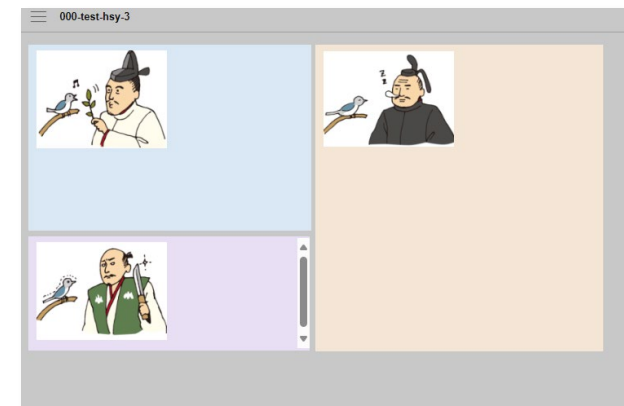
メンバーへの伝言板風の利用方法



掲示板風の利用方法



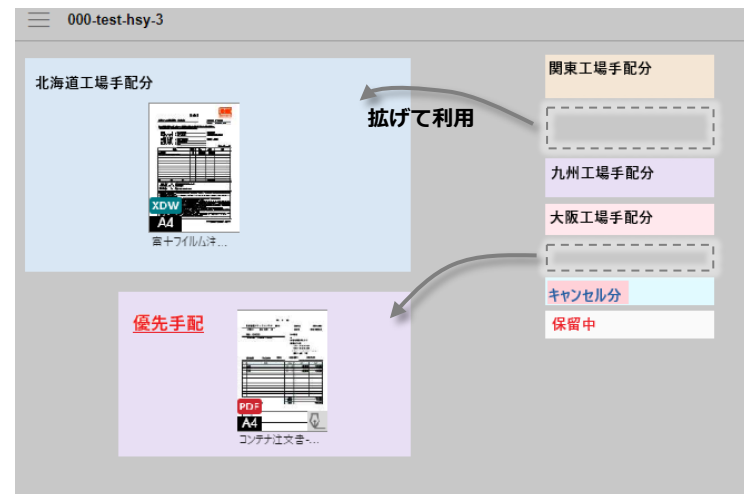
エリア分けの利用方法



領域として利用し、同一ステータスや同種の文書の“集積場所”として使う



通常時は小さなサイズにしておいて、必要に応じて拡げて利用する





# 文書取り込み：Box/Google Driveに対するScan&Print連携

- 複合機パネル上の「FUJIFILM IWpro Captureアプリ」から、ご利用中のBox/Google Drive(kintone/ Microsoft Teams/OneDriveは対応済)に対して、登録先フォルダーを指定したスキャン登録や検索した文書ファイルのプリントなどが可能です。

## ● スキャン登録

複合機でスキャンした文書を対象サービスに直接登録することができます。

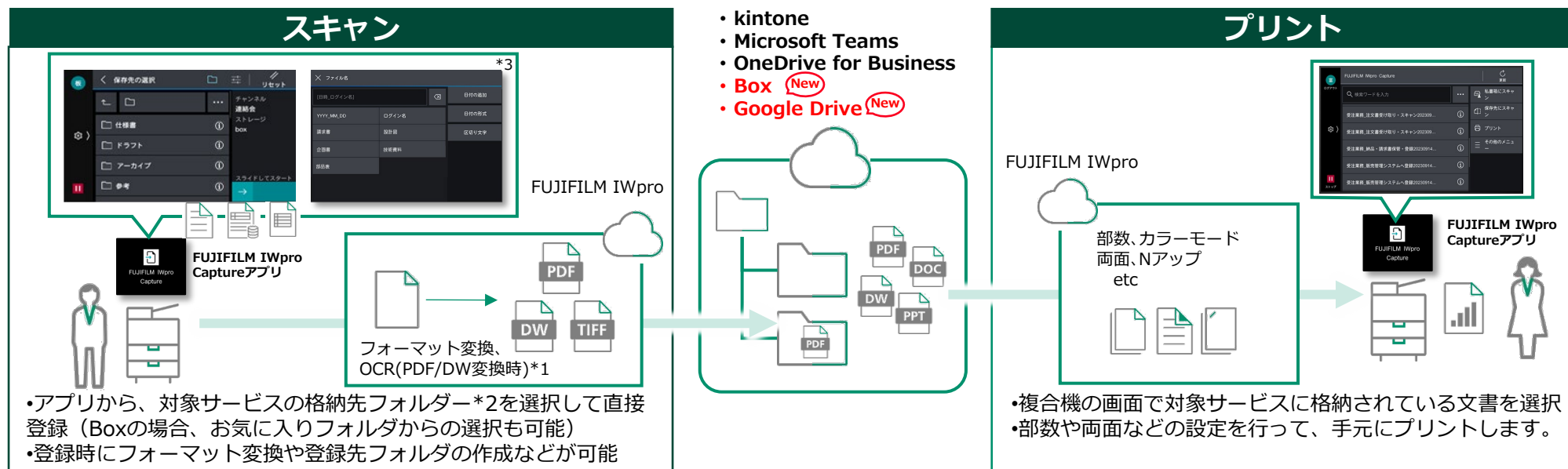
登録時は、複合機上の画面で各サービスのフォルダー階層\*をたどり、目的のフォルダーに直接登録することができます。登録先のフォルダーが見つからない場合はフォルダー名で検索、適切なフォルダーが無い場合は新しいフォルダーを作成してその配下に登録することも可能です。また、ファイル名はよく使う候補値を設定しておくことで、画面上から選択するだけで意図したファイル名を付与できます。

(\*kintoneはアプリまたはレコード、Microsoft Teamsはチャンネル)

## ● プリント

対象サービスに格納されている文書を選択してプリントすることができます。

複合機上の画面で対象サービス上の文書を選択してプリントします。目的の文書が見つからない場合はファイル名で検索して、検索結果の中から目的の文書をプリントすることも可能です。



※本機能を利用する場合、最新のFUJIFILM IWpro Device Setupを利用して各アプリモジュールを再設定してください。

※登録やプリントを行う場合、登録先フォルダーや文書に対する必要なアクセス権限などが必要です。

\*1：PrintライセンスユーザーがOCRを利用する場合は、利用する複合機にオプションの「スキャン機能拡張キット」または「サーチャブルPDFキット」が必要です。

\*2：各ストレージの登録可能先は巻末の対応表を参照してください

\*3：複合機画面より、候補値を選択してファイル名を作成するには、Light/Standardライセンスが必要です。Printライセンスではご利用できません。

# 複合機の電子化促進：FUJIFILM IWpro 業務別スキャン

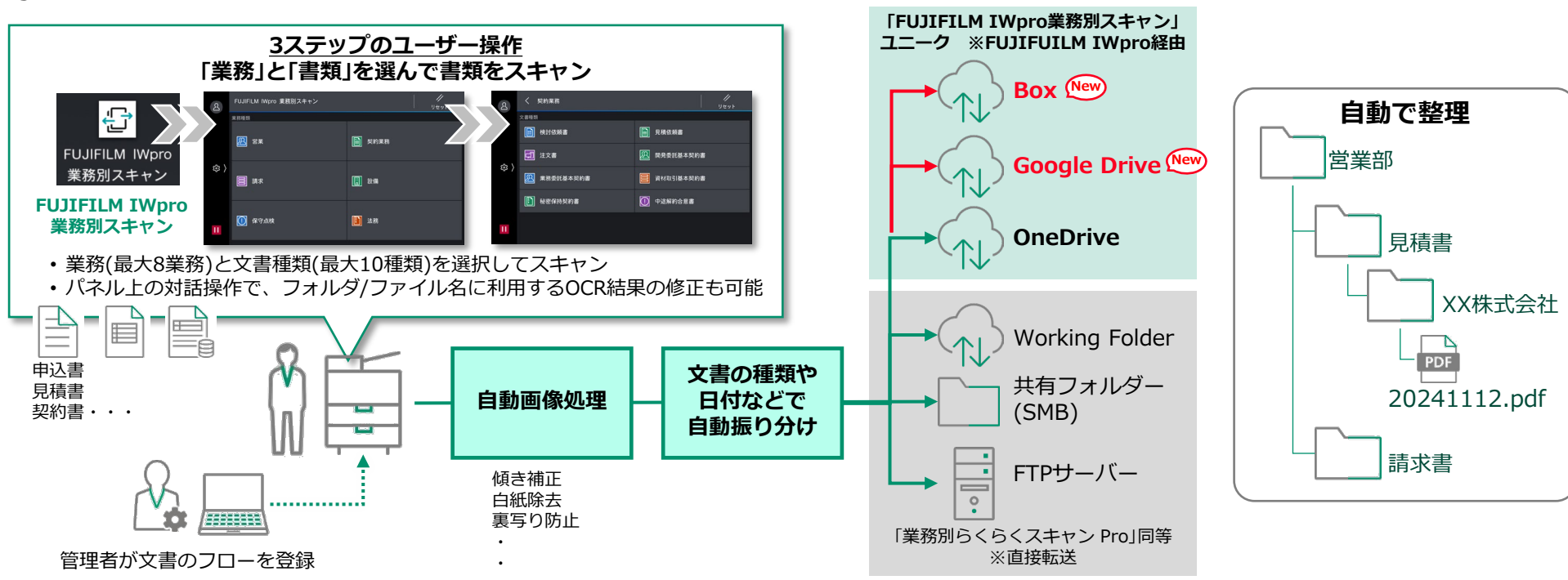
■ 文書の電子化を促進する「FUJIFILM IWpro業務別スキャン」のクラウドサービス連携を強化しました。Apeosシリーズ複合機向けの追加型アプリケーション「業務別らくらくスキャン Pro」同等機能を提供する「FUJIFILM IWpro業務別スキャン」アプリのクラウドサービス連携を強化し、BoxおよびGoogle Driveに対応しました。

## ●FUJIFILM IWpro 業務別スキャン

複合機からのスキャン時に、業務の種類と文書の種類を選択するだけで、あらかじめ設定されたルールに従ってファイル名を付け、所定の保存先\*2へスキャン文書を直接格納します。PCで取り出し格納する必要がなくなり、定型的なスキャン業務の作業効率が図れます。

## ●クラウドストレージへの格納

「業務別らくらくスキャン Pro」同等のスキャン文書の格納先に加え、クラウドストレージサービスOneDrive for Business、さらにBox, Google Drive\*1に直接登録することができます。 ※FUJIFILM IWproのワークスペース、ドキュメントキャビネット/ドロワーへの登録はできません。



※本機能を利用する場合、最新のFUJIFILM IWpro Device Setupを利用して各アプリモジュールを再設定してください。

※ 「FUJIFILM IWpro 業務別スキャン仕分け」は、FUJIFILM IWpro Standard/Light/Printライセンスを付与されたユーザーアカウントが利用できます。

FUJIFILM IWpro Printライセンスで利用する場合、月間のスキャンファイル数に契約ユーザー数×100ファイルの上制限があります。

\*1：OneDrive for Business/Box/Google Driveは別途契約が必要です。スキャン利用するユーザーアカウントの対象サービスへの連携登録設定が必要です。

各ストレージの登録可能先は巻末の対応表を参照してください

# ペーパーレスファクス : FUJIFILM IWproファクス仕分け

## ■ ペーパーレスファクスを促進する「FUJIFILM IWproファクス仕分け」のクラウドサービス連携を強化しました。

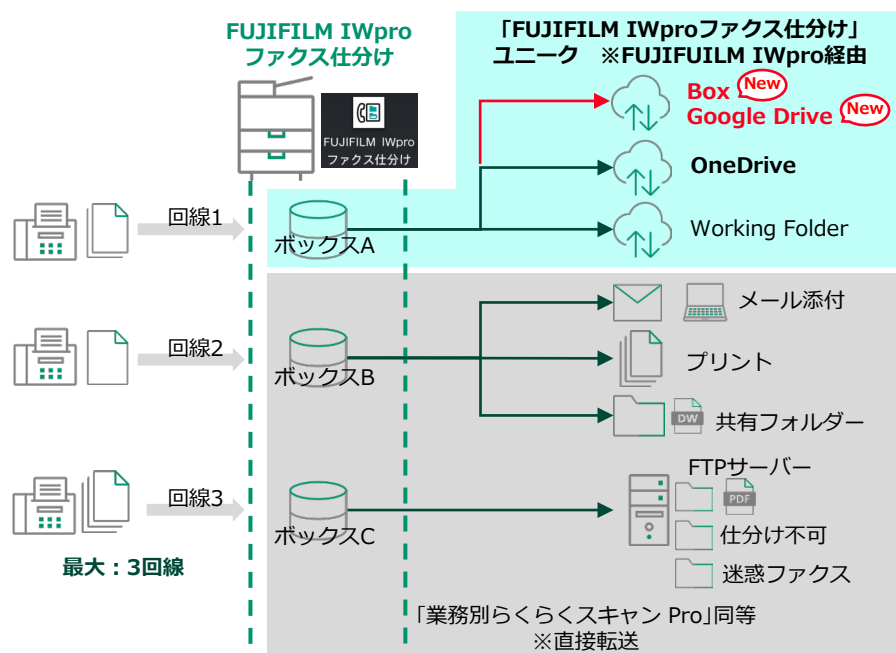
Apeosシリーズ複合機向けの追加型アプリケーション「ペーパーレスファクス仕分け」同等機能を提供する「FUJIFILM IWpro ファクス仕分け」アプリのクラウドサービス連携を強化し、BoxおよびGoogle Driveに対応しました。複合機で受信したファクス文書を自動で仕分けて、文書をプリントすることなく、ファイルサーバーやクラウドサービスに転送したり、メールに添付して送信が可能です。

### ●受信ファクスの自動仕分け

転送するとき、ファクス番号などの受信情報や受信した日付で文書を仕分けることができます。ファクス受信は最大3回線まで可能で、回線ごとに最大2つの転送先とプリントの有無を設定が可能です。保存形式は、PDF/DocuWorks/TIFFを選択できます（PDF/DocuWorksはセキュリティ設定も可能。）

### ●クラウドストレージへの格納

「ペーパーレスファクス仕分け」同等の機能に加え、受信文書の格納先としてクラウドストレージサービスOneDrive for Business/Box/Google Drive\*1に直接登録することができます。 ※FUJIFILM IWproのワークスペース、ドキュメントキャビネット/ドロワーへの登録はできません。



仕分け方法	概要
番号	「電話番号」「G3ID」「ダイヤルイン番号」により仕分け
担当者	CSVで番号別に担当者を設定しインポートしておくことで仕分け
年月日	受信した年月日による仕分け
ファイル名に利用できるもの	ファイル名の生成例
受信日時	201707011300
宛先表登録名	富士フィルム
発信者番号	0312345678
G3ID	06-9876-5432
シリアル番号	111111
任意文字列	FUJIFILM IWpro

※本機能を利用する場合、最新のFUJIFILM IWpro Device Setupを利用して各アプリモジュールを再設定してください。

※「FUJIFILM IWpro ファクス仕分け」は、FUJIFILM IWpro Standard/Light/Printライセンスを付与されたユーザーアカウントが利用できます。

\*1 : OneDrive for Business/Box/Google Driveは別途契約が必要です。スキャン利用するユーザーアカウントの対象サービスへの連携登録設定が必要です。

各ストレージの登録可能先は巻末の対応表を参照してください



## 2025年3月24日リリース

- ◆ 業務設定の[電子帳簿保存法対応サンプル]を実行した場合に自動設定する内容を改善
- ◆ ワークスペースの操作性改善：カーソルキーやショートカットキー等のキーボード操作対応



# ワークスペース：業務設定[電帳法対応サンプル]の設定内容見直し

- 各種設定作業の効率化にご活用いただいている業務設定機能の設定内容を見直しました。  
高評価をいただいている電子帳簿保存法対応用の業務設定をより実践的な内容に変更いたしました。

## 業務設定の主な変更点

- 業務設定名を「電子帳簿保存法対応」に変更しました。(旧名称「電子帳簿保存法対応サンプル」から変更)
- 業務設定で自動設定される属性などを厳選して簡略化し、自動設定される範囲を拡大しました。
- ドキュメントの検索設定や操作履歴の保存年限（10年）などの法要件対応設定を追加しました。
- 関係するユーザーを集めた「電帳法業務グループ」を事前に作成しておけば、共有設定・権限設定も自動設定します。

## 業務設定[電子帳簿保存法対応]の主な変更点

設定対象	設定項目	設定内容
ワークスペース	属性グループ名称の変更	属性グループ名から「サンプル」を削除
	作成するワークスペース(電帳法文書確認/電帳法文書バックアップ)の共有設定	「電帳法業務グループ」に対する共有設定(*)
	作成するワークスペース(電帳法文書確認/電帳法文書バックアップ)の表示設定	リスト表示に切り替え、リスト表示は電帳法の必須属性の優先表示に変更設定
トレイ	電帳法文書保管の共有設定	「電帳法業務グループ」に対する共有設定(*)
タスクナビゲーションバー	訂正確認の設定変更	訂正確認の設定内、「値の補正/チェック」取引先設定の削除
ルール	ルール名称の変更	ルール名称から「サンプル」を削除
ドキュメント	キャビネット：利用者/管理者追加	利用者：「電帳法業務グループ」を追加(*)
	キャビネット：アクセス権マスクの設定	「すべてのユーザー」を削除 「電帳法業務グループ」に作成・取得権限を設定(*)
	キャビネット操作の履歴設定	保存期間120か月へ延長、対象属性を追加
	作業設定	電帳法業務への推奨設定を追加
	共用検索設定	電帳法業務への推奨設定を追加

\*：事前に、テナント管理>ユーザーグループ管理で「電帳法業務グループ」のグループ作成が必要です。

# ワークスペース：キーボード操作対応

- 操作性改善策として、ワークスペース上の各種操作に対して、キーボードで操作可能な箇所を拡大しました。大量文書の確認訂正作業などで、煩わしいマウス操作をしなくてもキーボード操作のみで連続的な文書操作ができるようにしました。

## [リスト表示状態のワークスペース]

ワークスペース

マーク(小窓)確認用

一括操作 アップロード フォルダの作成 絞り込み

Tab セクションを移動

文書選択の移動

Enter 文書を選択

属性カラムの移動

Enter 編集モードを起動

Tab 文書選択からタスクナビゲーションバーに移動

Enter ツール起動

名前	ロケータ	取引日付	取引金額	最終更新日時
20220430C社使用料	株式会社クエ...	2025/02/19 00...	100	2025/02/18 19:35
2024-10-2請求内容				2025/02/18 19:30
A社-印刷費				2024/12/18 20:16
A社-発送費				2024/12/18 20:16
A社-搬入費				2025/02/13 8:01
B社様ご提案資料とお見送り				2025/02/13 8:06
メール例文				2024/12/18 20:08
見積書_富士新	ABC株式会社			
顧客マスタ				2024/12/18 19:52
請求書20240228-サン株式会社-3	サン株式会社			2025/01/07 17:42

## [サムネイル表示状態のワークスペース]

富士 太郎 さんのワークスペース

1/7

文書選択の移動

Enter 文書を開く

Webサイト-Photo- A4

契約書\_サンプル... DOCX A4

文書サンプル\_グラフ XLSX A4

## [確認訂正画面]

確認訂正

2024030C社使用料.pdf

結果状況：OCR済み

Ctrl + End 最後の属性にジャンプ

Ctrl + Home 先頭の属性にジャンプ

属性名	値
原本保管場所	
取引済み元情報	
取引済み方法	
取引先FAX番号	
取引先コード	
取引先メールアドレス	
取引先住所	
取引先名	株式会社クエ...



## 2025年5月26日リリース

- ◆ ワークスペース上の文書を外部に公開する「文書公開URL」機能
- ◆ 複合機アプリ「FUJIFILM IWpro Captureアプリ」のDropbox/SharePoint連携対応
- ◆ 複合機アプリ「FUJIFILM IWpro業務別スキャン/ファクス仕分」のDropbox/SharePoint連携対応







# 複合機の電子化促進：FUJIFILM IWpro 業務別スキャン

## ■ 文書の電子化を促進する「FUJIFILM IWpro業務別スキャン」のクラウドサービス連携を強化しました。

Apeosシリーズ複合機向けの追加型アプリケーション「業務別らくらくスキャン Pro」同等機能を提供する「FUJIFILM IWpro業務別スキャン」アプリのクラウドサービス連携を強化し、DropboxおよびSharePoint Onlineに対応しました。

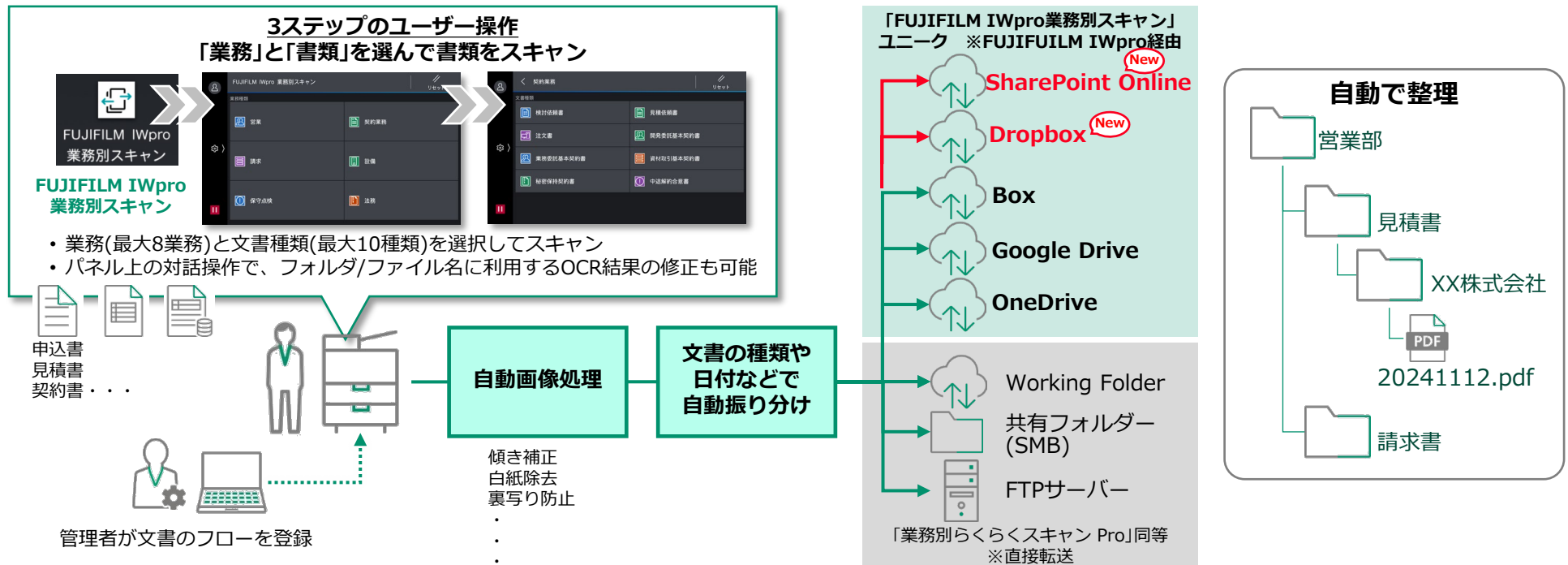
### ●FUJIFILM IWpro 業務別スキャン

複合機からのスキャン時に、業務の種類と文書の種類を選択するだけで、あらかじめ設定されたルールに従ってファイル名を付け、所定の保存先\*2へスキャン文書を直接格納します。PCで取り出し格納する必要がなくなり、定型的なスキャン業務の作業効率が図れます。

### ●クラウドストレージへの格納

「業務別らくらくスキャン Pro」同等のスキャン文書の格納先に加え、各社クラウドストレージサービスに直接登録することができます。

※FUJIFILM IWproのワークスペース、ドキュメントキャビネット/ドロワーへの登録はできません。



※本機能を利用する場合、最新のFUJIFILM IWpro Device Setupを利用して各アプリモジュールを再設定してください。

※「FUJIFILM IWpro 業務別スキャン仕分け」は、FUJIFILM IWpro Standard/Light/Printライセンスを付与されたユーザーアカウントが利用できます。

FUJIFILM IWpro Printライセンスで利用する場合、月間のスキャンファイル数に契約ユーザー数×100ファイルの上制限があります。

\*1：Dropbox/SharePoint Online/OneDrive for Business/Box/Google Driveは別途契約が必要です。スキャン利用するユーザーアカウントの対象サービスへの連携登録設定が必要です。

各ストレージの登録可能先は巻末の対応表を参照してください

# ペーパーレスファクス : FUJIFILM IWproファクス仕分け

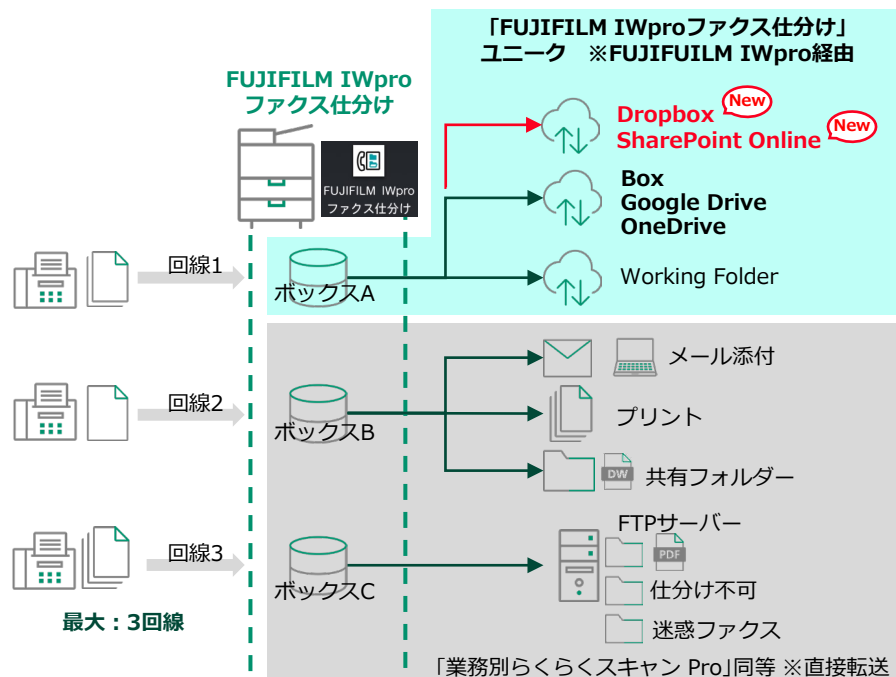
- ペーパーレスファクスを促進する「FUJIFILM IWproファクス仕分け」のクラウドサービス連携を強化しました。  
Apeosシリーズ複合機向けの追加型アプリケーション「ペーパーレスファクス仕分け」同等機能を提供する「FUJIFILM IWpro ファクス仕分け」アプリのクラウドサービス連携を強化し、DropboxおよびSharePoint Onlineに対応しました。複合機で受信したファクス文書を自動で仕分けて、文書をプリントすることなく、ファイルサーバーやクラウドサービスに転送したり、メールに添付して送信が可能です。

## ●受信ファクスの自動仕分け

転送するとき、ファクス番号などの受信情報や受信した日付で文書を仕分けることができます。ファクス受信は最大3回線まで可能で、回線ごとに最大2つの転送先とプリントの有無を設定が可能です。保存形式は、PDF/DocuWorks/TIFFを選択できます（PDF/DocuWorksはセキュリティ設定も可能。）

## ●クラウドストレージへの格納

「ペーパーレスファクス仕分け」同等の機能に加え、受信文書の格納先として各社のクラウドストレージサービス\*1に直接登録することができます。 ※FUJIFILM IWproのワークスペース、ドキュメントキャビネット/ドロワーへの登録はできません。



仕分け方法	概要
番号	「電話番号」「G3ID」「ダイヤルイン番号」により仕分け
担当者	CSVで番号別に担当者を設定しインポートしておくことで仕分け
年月日	受信した年月日による仕分け
ファイル名に利用できるもの	ファイル名の生成例
受信日時	201707011300
宛先表登録名	富士フイルム
発信者番号	0312345678
G3ID	06-9876-5432
シリアル番号	111111
任意文字列	FUJIFILM IWpro

※本機能を利用する場合、最新のFUJIFILM IWpro Device Setupを利用して各アプリモジュールを再設定してください。

※「FUJIFILM IWpro ファクス仕分け」は、FUJIFILM IWpro Standard/Light/Printライセンスを付与されたユーザーアカウントが利用できます。

\*1 : Dropbox/SharePoint Online/OneDrive for Business/Box/Google Driveは別途契約が必要です。スキャン利用するユーザーアカウントの対象サービスへの連携登録設定が必要です。  
各ストレージの登録可能先は巻末の対応表を参照してください



## 2025年6月16日リリース

◆ 社外や取引先との協働作業を促進する「ゲストユーザー」機能を提供



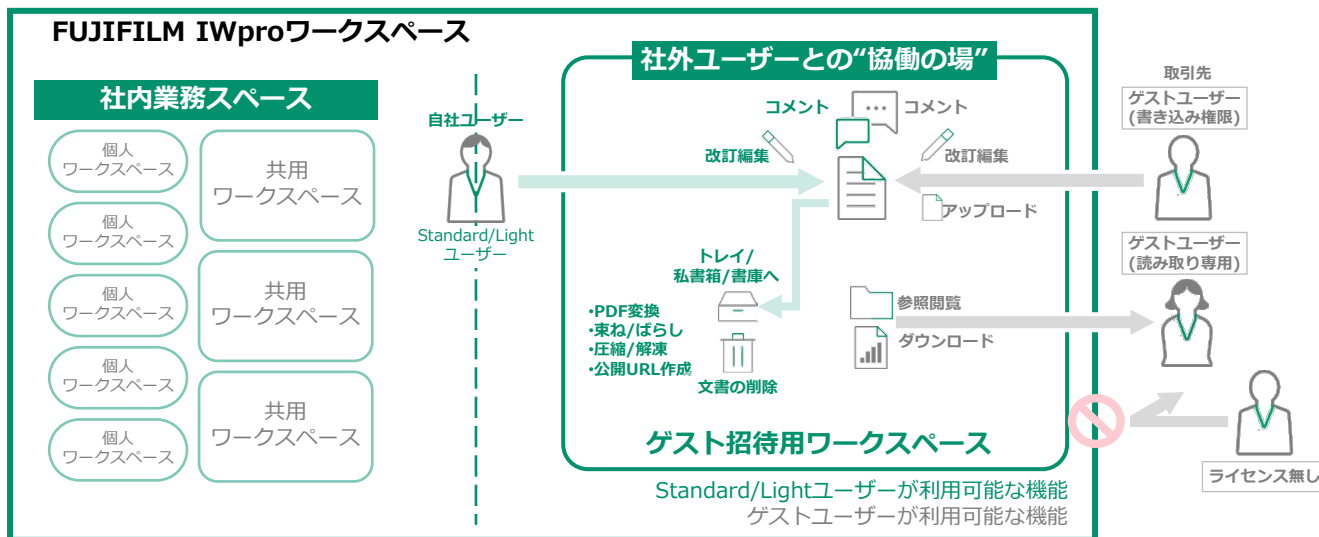
# ワークスペース：協働作業を促進する「ゲストユーザー」機能

## ■ 取引先などの社外ユーザーと協働作業を行うための「ゲストユーザー」機能を提供しました。

自社のFUJIFILM IWproワークスペース上に、協働作業の場となる「ゲスト招待用ワークスペース」を設定し、取引先や委託先等の社外の方を機能制限されたユーザー「ゲストユーザー」として参加させることができます。

文書の共有や閲覧・参照、文書作成や改訂作業などの協働作業に「ゲストユーザー」が参加することで、リアルタイムな情報共有とコミュニケーションを活性化し、共通の目標や問題解決のための知識やアイデアの活用(集合知)を促進します。

- ゲストユーザー機能は、FUJIFILM IWpro Standard/Lightライセンス契約で利用できるワークスペース機能で利用できます。
- Standard/Lightライセンス契約には、契約ユーザー数に関係なくゲストユーザー機能(10ゲストユーザー)が付帯します(\*1)
- 「ゲストユーザー」は、テナントに登録した富士フイルムBIダイレクトユーザーに「Collaboration」ライセンスを付与したユーザーです(\*2)
- 「ゲストユーザー」は、ワークスペース管理者が作成設定した「ゲスト招待用ワークスペース」のみにアクセス可能です(\*3)
- 「ゲスト招待用ワークスペース」は、Standard/Lightユーザーとゲストユーザーが利用することができ、「ゲストユーザー」にはアクセスレベル(書き込み/読み取り)の設定が可能です。また、「ゲストユーザー」は利用できる機能が制限されます。



### ◆ゲストユーザーが利用可能な主な機能

- ファイルのアップロード、ダウンロード
- 文書の参照閲覧(開く/クイックビュー)、属性参照
- 文書の改訂編集、コメント/申し送り、アノテーション付与
- デスクトップアプリで開く(FUJIFILM IWpro Tools)
- 通知(ワークスペースベルアイコン/Tools通知)

### ◆ゲストユーザーが利用できない主な機能

- ワークスペース管理全般
- 個人ワークスペース利用、「ゲスト招待用ワークスペース」以外の通常ワークスペースへのアクセス
- ユーザー付帯容量(10GB/ユーザー)
- 私書箱/トレイ/書庫の利用(送る/開く)
- タスクナビゲーションバーの利用
- 文書/フォルダーの削除操作、属性の削除修正
- ワークスペース上の検索
- ワークスペース付箋の表示閲覧、作成編集
- ファイル圧縮/解凍、束ね/分割/回転、文書公開URL作成
- 送信履歴の閲覧
- モバイルアプリを利用したアクセス
- 「文書管理(ドキュメント/プロセス)」「プリント」「文書取込み」「複合機管理」機能、複合機アプリ、連携フォルダの利用

\*1：オプション商品「FUJIFILM IWpro Collaboration 追加オプション」(10ゲストユーザー追加/ユニット)の追加契約で追加が可能

\*2：ゲストユーザーにはStandard/Lightユーザーに付帯している容量(10GB/ユーザー)は付帯しません。

\*3：1つのBIダイレクトユーザーID(メールアドレス)で利用できるFUJIFILM IWpro環境は1つのみです。そのため、すでに他のFUJIFILM IWproを利用しているユーザーID(メールアドレス)を、ゲストユーザーとして招待することはできません。同様に、ゲストユーザーとして登録済みのユーザーID(メールアドレス)は、他のFUJIFILM IWproを利用することができません。

※すでに他のFUJIFILM IWproを利用しているユーザーをゲストユーザーとして招待する場合は、別のBIダイレクトユーザーID(未登録のメールアドレス)を利用してください。この制限事項については、制限緩和のための改善を検討中です。



## 2025年7月22日リリース

◆アナリティクス機能に、過去のデータから将来の需要を予測する分析タイプ「需要予測」を提供

# ■ アナリティクス：分析タイプ「需要予測」

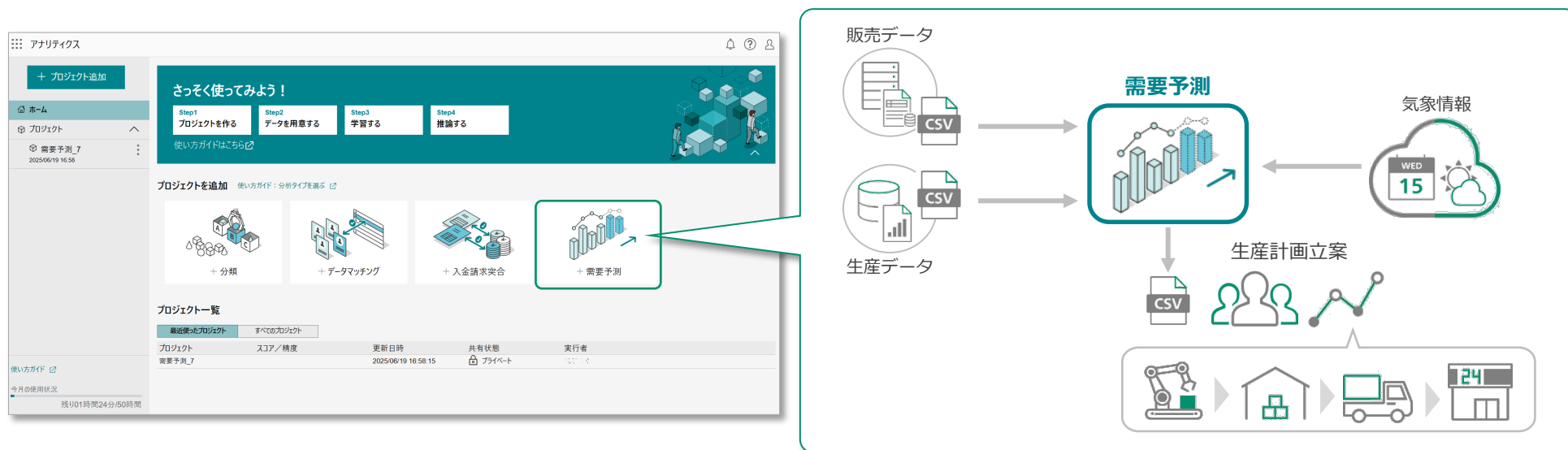
## ■ 過去のデータや気候情報などから、将来の需要を予測させる新しい分析タイプ「需要予測」を提供しました。

製造業や小売業では販売や出荷量に合わせて生産や在庫を調整し、受注機会の損失や余剰過剰生産による廃棄ロスなどを極小化することが収益性の向上に不可欠です。そのために、需要を予測した販売計画や生産計画を立て、原材料の調達などを行いますが、勘や経験に依存しているケースが多く、精度のバラツキや将来的な不安が課題です。

## ■ 分析タイプ「需要予測」

販売や生産等の過去のデータや気候情報などを利用して今後の需要を予測します。このAI予測データを活用して生産や調達などを計画することで、需要変動に対応した無駄のない生産計画の策定を支援します。

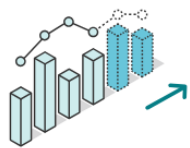
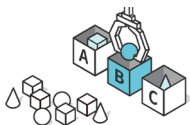


- 追加料金不要で、従来の3つの分析タイプ(分類/データマッチング/入金請求突合)に追加提供します。
- 売上や商品の販売予測、受注に応じた生産量の予測、小売店や飲食店の来店者数の予測などに利用できます。
- 過去の実績データだけでなく、天気や気温\*1、曜日/祝祭日など、反映が難しかった要因を加味した予測で精度向上が期待できます。
  - ✓ 天気や気温などの過去の気象情報は、販売地域や店舗所在地などの郵便番号\*2の入力だけで利用できます。
- AIを利用することで、ベテランの勘や経験などに依存せず、世代交代などの将来的なリスクも軽減することができます。



\*1：予測時に、気象情報を「考慮する/しない」が選択できます。気象情報を利用する場合は、「日」単位の予測となります。

\*2：気象情報は、対象地域を郵便番号(7桁)で指定します。大口事業所個別番号(企業専用の郵便番号)も利用可能です。

## ■ 3つの分析タイプメニューに新たに「需要予測」を提供。今後も順次追加予定です。


<p>New</p> <p><b>需要予測</b></p>	 <p><b>過去の実績データに、気候情報などの要因を加味して、将来の需要を予測します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ユースケース：食品の生産計画立案 過去の販売実績データに、気候情報などの要因を加味して、今後の需要を予測するAIを作成。AIが導き出した需要データを利用して、最適な供給量に対応する、原材料調達や製造量、適正在庫や物流などの生産計画の立案を支援します。 その他のユースケース：小売店や飲食店の来店者数予測、商品販売数や売上予測など</li> </ul>
<p><b>分類</b></p>	 <p><b>設定された属性ごとに、適切なカテゴリに振り分けます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ユースケース：コールセンターなどの問合せ対応業務 修理依頼や操作問合せなどの過去の問合せ対応実績に基づいて分類するAIを作成し、問合せ内容を適切なカテゴリに分類し、最適な担当者に自動で振り分けます。 その他のユースケース：販促ターゲットの抽出、サービスの解約予測、など</li> </ul>
<p><b>データ マッチング</b></p>	 <p><b>2つのデータセットを比較し、一致または関連性の高い項目を見つけます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ユースケース：受発注を担当する営業事務業務 社内の受発注システムで使用している商品名と、お客様注文書に記載された商品名との差異や表記ゆれなど、過去の照合例を学習したAIを作成し、マッチング作業のスピードアップを図ります。 その他のユースケース：取引データの名寄せ、製品名・製品コードの紐づけ、など</li> </ul>
<p><b>入金請求 突合</b></p>	 <p><b>企業の略称や口座の違いなどを考慮した、最適な消込候補を提示します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ユースケース：経理部門の入金消込業務 省略された企業名や同一企業の口座違いなどの過去の照合パターンを学習したAIを作成することで、最適な消込候補を提示することで、迅速かつ正確な入金と請求の照合・照会を支援します。</li> </ul>



● **Intelligent Assistantオプション特設サイト**

アナリティクス機能をご紹介します「Intelligent Assistant オプション特設サイト」では、アナリティクス機能の概要をご紹介します動画や、さまざまな業種や業務におけるユースケースとその導入効果、お試しトライアルなどにご利用いただける学習用・推論用サンプルデータなどをご提供しています。  
ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/fb/product/software/fbiwpro/intelligentassistant/>



## 2025年9月24日リリース

- ◆ AI技術を利用したOCR機能「FUJIFILM IWpro Intelligent Data Captureオプション」提供開始
- ◆ ワークスペース上の文書に「明細属性」機能を提供



# ワークスペース：表形式でデータを保持する文書ファイルの「明細属性」

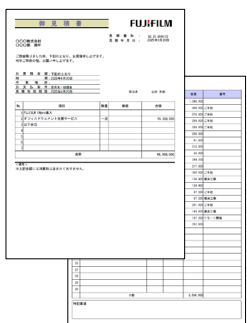
- **タイトルや日付などの基本属性に加え、文書に付帯する情報を表形式で保持できる「明細属性」を提供しました。**  
請求書や注文書などには、品目、数量などを記載した内訳明細の情報が付いています。受発注業務においてはこの明細情報をシステムへの入力情報として利用しますが、閲覧しながらの入力にはミスや工数がかかります。FUJIFILM IWpro では、文書ファイルの基本属性に加え、明細情報を保持できる「明細属性」を新たに提供しました。

## ■ 明細属性の概要

「明細属性」は『項目(列)×行』という表形式でデータの保持が可能で、帳票の内訳明細情報などの管理に適しています。また、項目や値の手動入力や別途提供するAIによる明細情報のデータ抽出からの入力に対応し、入力データの確認訂正、CSV出力や他システムへのデータ登録なども可能です。

- 「明細属性」は、文書タイトルや発行日付などを管理する「基本属性」とは別に設定することができます。
- 「明細属性」は、最大20項目(列)×200行の表形式データとして保持できます。また、CSV形式のデータとして出力可能です。
- 「kintone」\*1のテーブルフィールドに対して、「明細属性」データを直接kintoneにインプット登録が可能です。
- AIによるデータ抽出機能\*2で解析抽出された明細データの結果は「明細属性」データとしてインプットされます。

### 内訳明細を持つ文書



### 明細属性の確認訂正画面

**【確認訂正】**  
帳票を閲覧しながら、値の入力や確認訂正入力が可能

**【列OCR対応】**  
マウスで選択した列範囲をOCR処理し、列単位の値入力が可能

### CSV出力設定画面

設定 - 属性情報をCSVに出力

出力内容  
属性と明細項目を複数行で出力  
属性のみ一行で出力  
属性と明細項目を複数行で出力  
属性と明細項目を一行で出力

出力例

GN-日時	GN-小数	GN-整数	GN-真偽値
(A0)	(B0)	(C0)	(D0)
(A1)	(B1)	(C1)	(D1)
(A2)	(B2)	(C2)	(D2)

文字コード  
UTF-8

**【CSV出力設定】**  
複数行形式のCSV出力に対応  
ユーザー定義項目の設定可能

### CSV形式で出力



属性値をkintoneに登録

登録先のアプリ  
81 明細データのテーブルフィールド登録

登録方法  
 新規レコードとして追加  
 既存レコードを上書き

登録する値  
フィールド名 \*      フィールドコード

表示する項目がありません。

明細項目  
テーブルのフィールド名: 明細データ

番号	Text	数量	単価	日付
1	20_富士フィルム	20	2000	
2	1_富士フィルム	1		
3	3_DEFジネス	3		

**【Kintone登録】**  
明細データをkintoneテーブルデータに登録

kintone

### テーブルフィールドに登録

### Kintoneへの登録設定画面

\*1：「kintone」はサイボウズ株式会社の登録商標です。ご利用時には別途「kintone」のご利用契約が必要です。  
\*2： Standard/Lightライセンス契約に付属する100ページ分のAI抽出処理および「FUJI IWpro Intelligent Data Capture」のAI抽出処理ページ追加が利用可能です。  
AIによる明細抽出機能で抽出可能な明細データは最大10ページ、16項目×200行です。



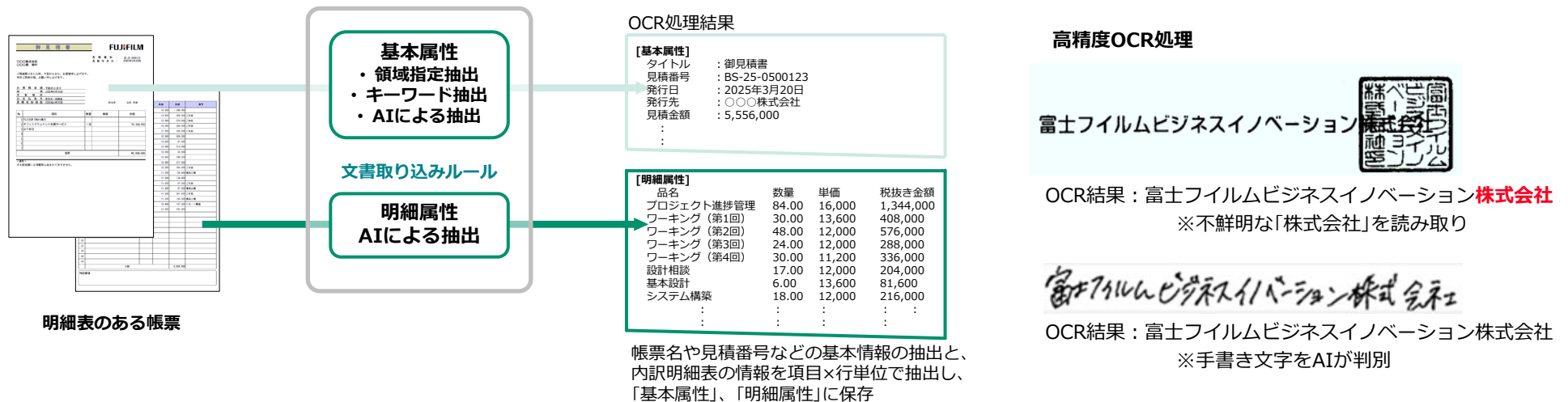
# 文書取り込み：AI技術を利用し、帳票に含まれる表形式の明細情報をデータ抽出

## ■ 請求書などの内訳明細表を持つ帳票をAI技術で解析し、明細データとして抽出するOCR機能「FUJIFILM IWpro Intelligent Data Captureオプション」を提供しました。

請求書や注文書などには、請求内容や品目などを記載した内訳明細表や明細別紙などが付いており、受発注業務ではこの情報を業務システムへのデータ入力に利用しています。

「FUJIFILM IWpro Intelligent Data Captureオプション」は、帳票内の明細情報をAIが解析\*1して、明細データとして出力します。抽出された明細データは、文書の明細属性に出力され、確認訂正や他のシステムへのデータインプットに利用することが可能です。これにより、帳票からの情報転記やデータ入力作業を軽減し、業務の効率化を実現します。

- 明細データの抽出は、最大10ページ、16項目×200行まで抽出が可能。抽出データは1つに結合して、文書の「明細属性」に保存されます。
- 領域やキーワードを指定しなくても、AIが文書番号や発行日などに該当すると判断した項目とその値を自動的に抽出します。
- 高精度OCRにより、不鮮明な読み取り結果や手書き文字の認識率\*2が向上しています。
- 「FUJIFILM IWpro JPEG, Ng Intelligent Data Captureオプション」は、FUJIFILM IWpro Standard/Lightライセンスのオプションです。Standard/Lightライセンスの契約には、本機能で提供するAIによるデータ抽出処理100ページ/月が無償で付属します。処理ページの追加が必要な場合は「FUJIFILM IWpro IWpro Intelligent Data Captureオプション」で、500ページ/月・ユニットの追加が可能です。



\*1：入力原稿のOCR結果をもとに、AIが解析および予測補完などを行うため、入力原稿に存在しない文字列が生成抽出される場合があります。

また、明細表は表構造の複雑度または表中の記述方法等により、精度が下がる場合があります。入力原稿が同一であっても同じ抽出結果が出力されない場合があります。

\*2：手書き文字は、活字文字と比較して、OCR結果の誤りが多くなる場合があります。



## 2025年12月15日リリース

- ◆ Web UIデザインの変更
- ◆ アクセスユーザーのアイコン表示
- ◆ イベント情報を加味した需要予測
- ◆ 富士フイルムBIダイレクトを利用した複合機認証

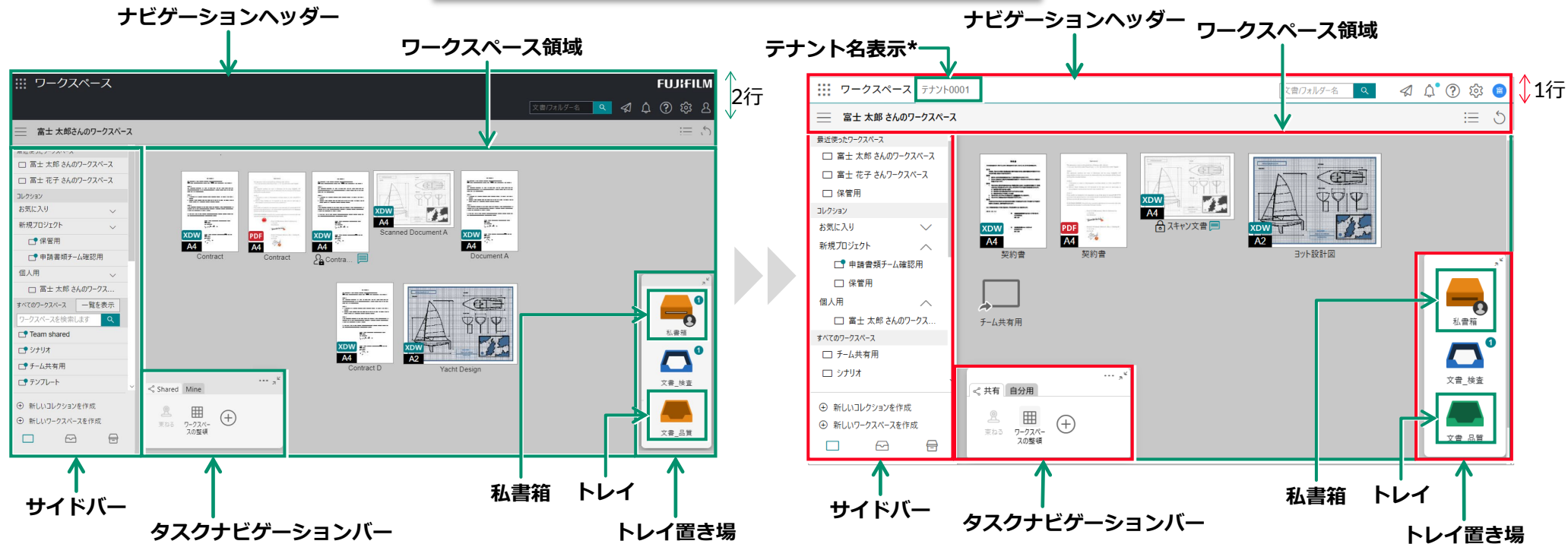
# 共通：Web UIデザインの変更

## ■ 2025年12月15日アップデートから、Web UIのデザインが変更になりました。

### 【主な変更点】

- ・ヘッダー部(ナビゲーションヘッダー)のカラーを、黒からホワイト基調に変更しました
- ・サイドバーメニュー/タスクナビゲーションバー/トレイのパネル背景カラーを明るい色に変更しました  
→全体的な明るさとメニューの視認性を向上させました。
- ・ナビゲーションヘッダーから「FUJIFILM」ロゴを削除しました  
ナビゲーションヘッダー部分がスリム化しました。特にワークスペース/プロセスのヘッダー部は、高さが2行から1行になり、ユーザー操作エリアが拡大しました。

### ワークスペースの新旧デザイン



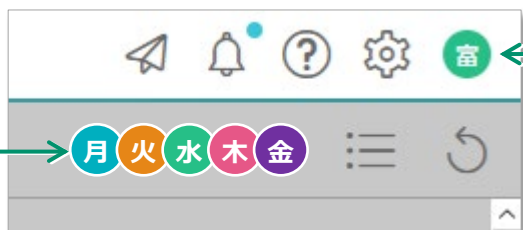
\*テナント名の表示はマルチテナント利用の場合

# ワークスペース：アクセスユーザーのアイコン表示

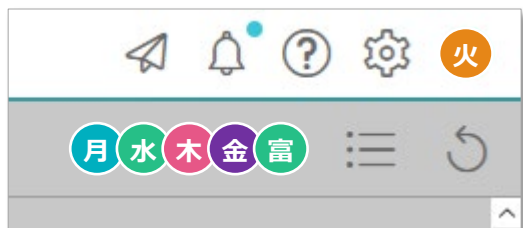
- 同じワークスペースにアクセスしている他のユーザーのアイコンが表示されるようになりました。
  - ・ ユーザーアイコンには、ユーザープロフィールの「姓」に設定された先頭1文字が表示されます。  
例：山田 太郎→山 Yamada, Taro→Y ※ユーザーアイコンの色の変更はできません。
  - ・ 最大5ユーザーのユーザーアイコンを表示します。6ユーザー以上の場合、グループアイコンにまとめて表示します。
  - ・ ユーザーアイコンをクリックすると、アクセスしているユーザーリストを表示します。  
各ユーザーのインフォメーションアイコンをクリックすると、「法人名」と「メールアドレス」を表示します。

## 5ユーザー以内の表示

同じワークスペースに  
アクセスしている  
他のユーザー



富士太郎さんのワークスペース表示



火野三郎さんのワークスペース表示

ワークスペースにアクセスしている場合に、  
自分以外のユーザーアイコンを表示します。

## 6ユーザー以上の場合



グループアイコン

ゲストユーザーの場合、  
[ゲスト：姓名]で表示

インフォメーションアイコンで「法人名」と「メールアドレス」を表示

〇〇〇△株式会社/xxx.xxx@〇〇〇〇〇〇.co.jp



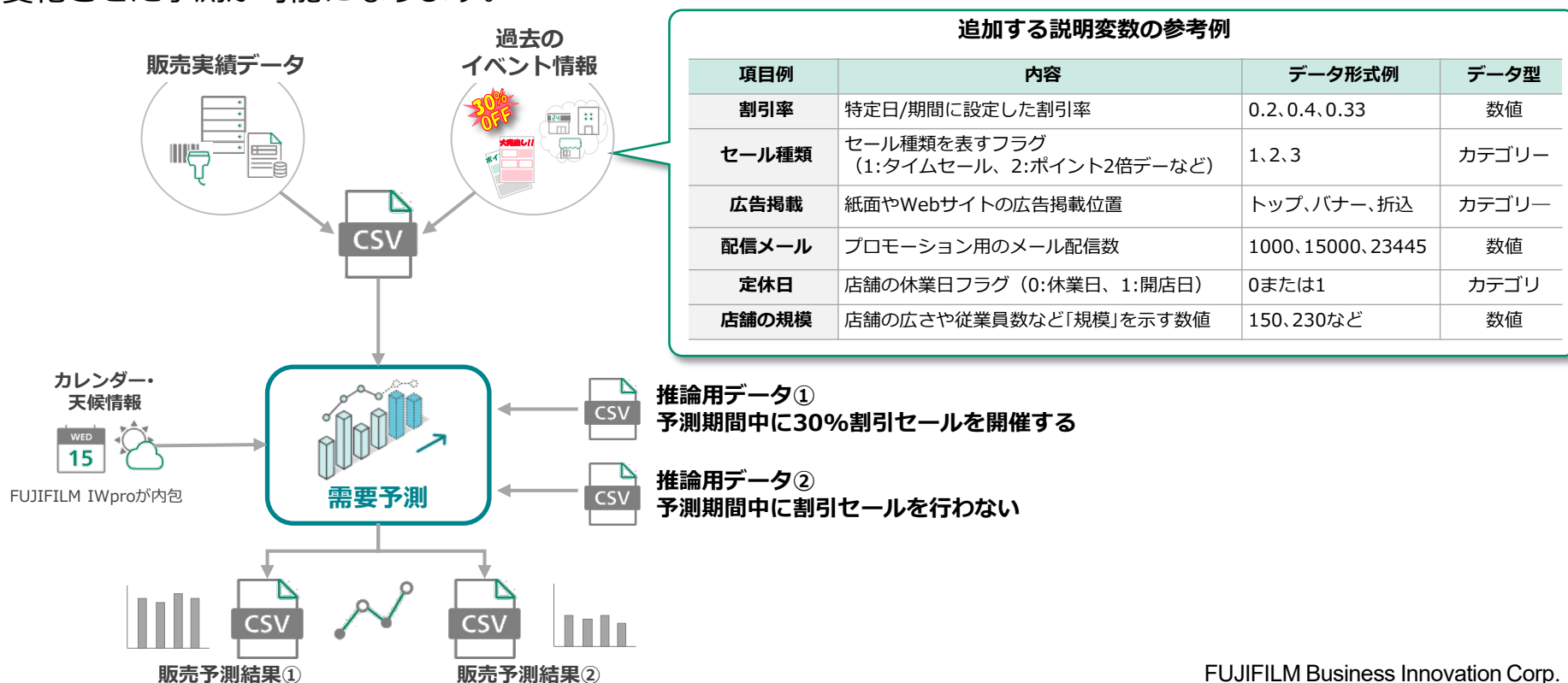
# ■ アナリティクス：イベント情報を加味した需要予測

## ■ 分析タイプ「需要予測」に、学習/推論に使用する項目(説明変数)を追加できるようになりました。

FUJIFILM IWproアナリティクスは、過去の実績データを用意すれば簡単な操作で高度な予測ができるAI分析機能です。これまで、学習や推論時にサービスが内包するカレンダー情報や該当地域の天候情報を加味させることが可能でしたが、機能アップデートにより、予測対象の過去のセールや催事などのイベントの有無や特別割引販売期間の割引率などの項目(説明変数\*)を追加できるようになりました。これにより、イベントの有無や割引効果などを加味した、さらに精度の高い予測が可能になりました。

\*「説明変数」とは予測や分析に影響を与える変数。例：アイスクリームの販売数に影響を与える「天気」や「気温」

- 過去の販売本数や売上実績だけではなく、同時に行われたセールイベントやプロモーション活動、販売価格(割引率)などを加えた学習データにより、単純なトレンドベースの販売本数や売上の予想だけではなく、イベント設定や割引率設定などを変化させた予測が可能になります。



# 共通：富士フィルムBIダイレクトを利用した複合機認証

## ■ 富士フィルムBIダイレクトの認証機能を利用して、複合機の認証ができるようになりました。

富士フィルムBIダイレクトがユーザー情報の統合的な管理と認証を行うため、複合機利用時もWebブラウザ利用と同等のユーザー認証が可能になります。また、富士フィルムBIダイレクト外部認証連携により、お客様ご利用中の認証サービス(IDaaS\*)と認証連携が可能です。

\*IDaaS(Identity as a Service)：複数のサービスのIDやパスワード情報を一元管理し、シングルサインオンや多要素認証などの機能を提供するクラウドサービス

### ●富士フィルムBIダイレクト認証の提供機能

複合機利用時のユーザー管理および認証を「富士フィルムBIダイレクト」が行います。

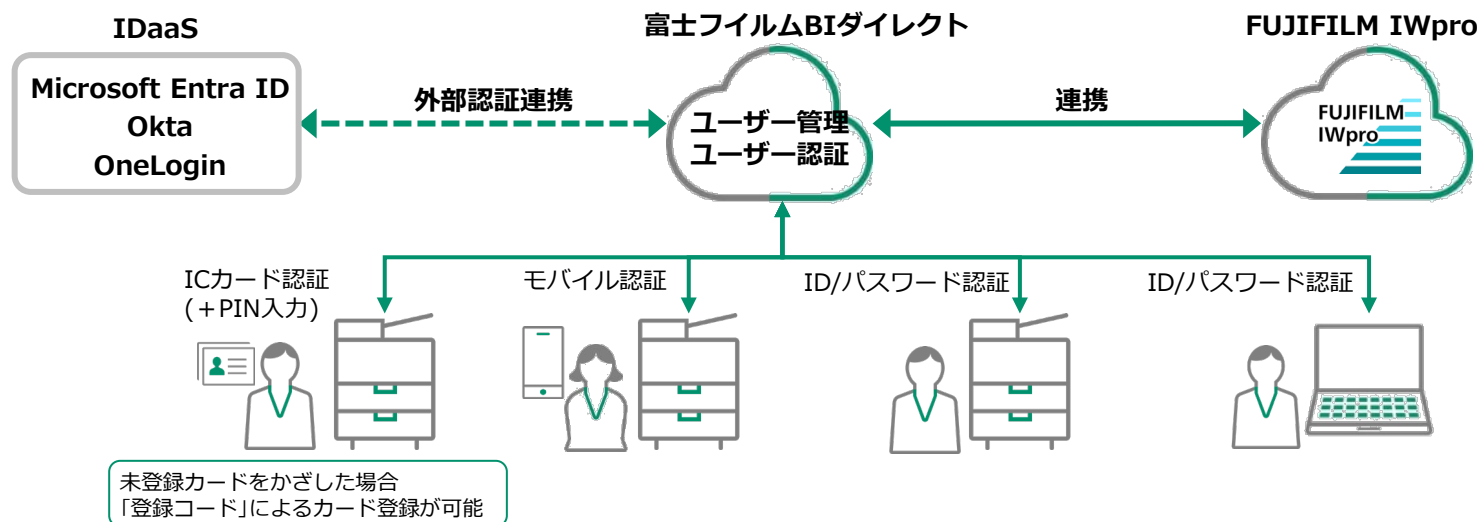
- 富士フィルムBIダイレクト上に、ユーザー管理を一元化
- ユーザーIDを複合機認証とFUJIFILM IWproログインで共通使用が可能
- 従来の「本体認証機能」利用のような複合機に対するユーザー情報の事前設定が不要
- 富士フィルムBIダイレクトの外部認証連携を利用して、Microsoft Entra IDなどのIDaaSとの連携が可能

### ●必要なライセンス

本機能を利用するためには、**利用する複合機毎に「FUJIFILM IWpro複合機管理」ライセンスが必要**です。

- FUJIFILM IWpro 基本サービス
- FUJIFILM IWpro 複合機管理ライセンス (× 富士フィルムBIダイレクト認証を利用する複合機の台数分)

※ 富士フィルムBIダイレクト認証の構築/設定は、弊社SEサービスまたはマルチベンダーサービスのご利用を推奨します。





## 2026年2月9日リリース

- ◆明細抽出項目の追加と有効/無効設定（文書取り込み）
- ◆複合機操作パネルからの機器登録設定（複合機搭載アプリ）
- ◆ドキュメントキャビネットの容量/登録件数のアラート通知（文書管理）
- ◆整数型・小数型属性の表示改善（ワークスペース）

# 文書取り込み：明細抽出項目の追加と有効化設定

- AIによる明細の抽出が可能な項目に、新たに5項目が追加されて20項目に拡大しました。また、明細で抽出する項目のON/OFFが可能になりました。

## ● 新たに追加された明細抽出項目

明細抽出プリセット項目に新たに下記の5項目が追加されました。(下表参照)

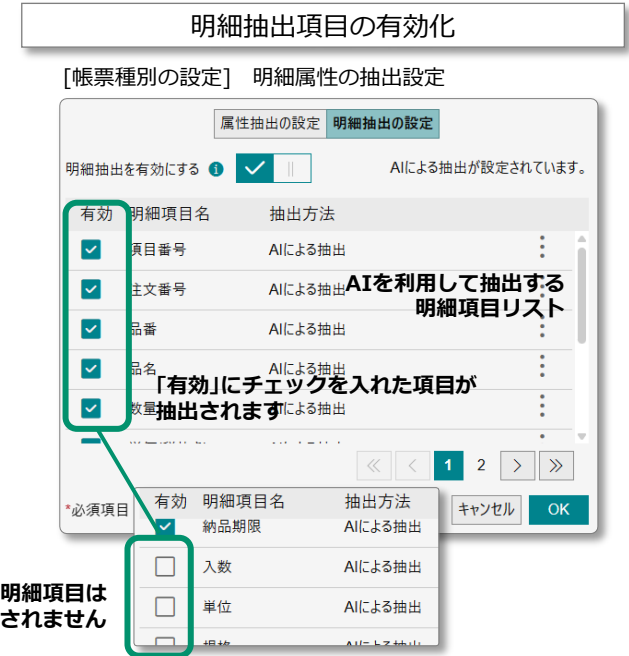
- ・入数：飲料ボトルなど、1つの箱やケースに入っている商品数を抽出
- ・単位：m(メートル)やℓ(リットル)などの数量の単位を抽出
- ・規格：商品の規格表記を抽出 例：ユニクロネジ「M8×12」
- ・担当者：明細の中に記載された個別の担当者を抽出
- ・納入先：明細の中に記載された顧客名や倉庫などの個別の納入先/納品先を抽出

## ● 明細抽出項目の有効化

従来個別指定ができなかった明細抽出項目を、項目毎に有効化/無効の設定ができるようになりました。

- ・抽出項目として利用する場合は各明細項目の「有効」にチェックを入れて運用します。
- ・AIが読取間違いをしやすい場合、どちらか1つを「有効」設定で運用するなど、設定の調整で読み取り精度が改善される可能性があります。

※新たに追加された5項目は、既存の明細抽出設定済みの帳票定義には利用しない(有効にチェックがない)項目として追加されます。(追加項目が有効化されていないため、抽出設定は従来と同じになります)



チェックされていない明細項目は抽出されません

## 明細抽出プリセット項目 (○：明細抽出対象の帳票プリセット項目)

帳票	明細項目/属性型	項目番号	注文番号	品番	品名	数量	単価(税抜き)	単価(税込み)	税込み金額	税抜き金額	消費税率	消費税額	取引日	注文書番号	備考	納品期限(明細毎)	新しく追加された5項目					
																	入数	単位	規格	担当者	納入先	
		文字列型	文字列型	文字列型	文字列型	小数型	小数型	小数型	小数型	小数型	小数型	小数型	日時型	文字列型	文字列型	日時型	小数型	文字列型	文字列型	文字列型	文字列型	
見積書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○			○	○	○	○	○
請求書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
注文書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○
納品書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○			○	○	○	○	○



# 複合機アプリ：複合機操作パネルからの機器登録設定

- 複合機からFUJIFILM IWproの各種機能を設定するための新しい複合機アプリ「FUJIFILM IWproセットアップ」を提供しました。「FUJIFILM IWproセットアップ」はネットワークに接続していない場合でも、PCと複合機を直接接続して設定モジュールのインストールが可能です。複合機をお客様ネットワークに接続後に操作パネル上の「FUJIFILM IWproセットアップ」を実行して、機器登録と下記アプリの設定を行います。事前に複合機にインストールしておけば、機器登録は複合機だけで設定が可能になります。

## ● 機器登録設定方法

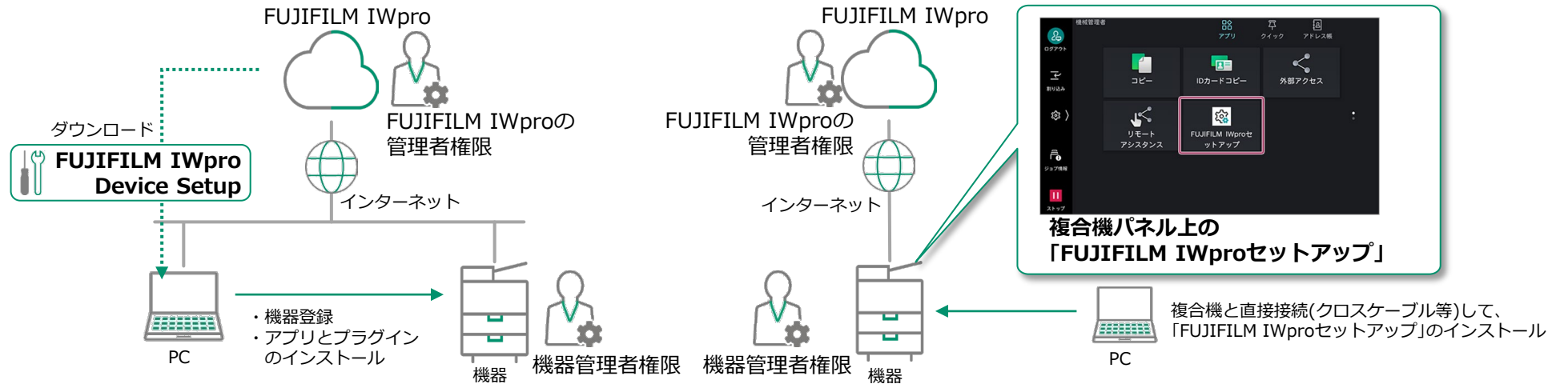
**従来の方法**：パソコン上の設定ツール「FUJIFILM IWpro Device Setup」を使用して機器登録設定

**新たに追加**：複合機\*1の操作パネル上の「FUJIFILM IWproセットアップ」を使用して機器登録

- ・機器登録は管理者権限(FUJIFILM IWproテナントのシステム管理者/テナント管理者/サービス管理者+複合機本体の機器管理者)が必要です。
- ・複合機にインストールされるアプリは同じです。利用可能な機能はご契約ライセンスで異なります。(下表参照)

「FUJIFILM IWpro Device Setup」で機器登録

**NEW** 複合機「FUJIFILM IWproセットアップ」で機器登録



インストールされる複合機アプリ	提供機能	FUJIFILM IWproライセンス		
		Print	Standard /Light	複合機管理
あなたの利用実績	機器管理サービスでジョブログを収集したり、利用実績を機器で確認できるようになります。	—	—	○
FUJIFILM IWpro Print	プリントサービスのプリントジョブを機器でプリントできるようになります。	○	○	—
FUJIFILM IWpro Capture	FUJIFILM IWproのルールを作成して、機器でスキャンやファクス受信した文書をワークスペースや文書管理に取り込めるようになります。	○	○	—
FUJIFILM IWpro 業務別スキャン	スキャンした文書のクラウドサービスやPCへの送信を業務ごとに設定できるようになります。	○	○	—
ファクス仕分け機FUJIFILM IWpro ファクス仕分けファクス動作切り替え能	ファクス受信した文書のプリント、ボックスへの保存、クラウドサービスやPCへの転送、仕分けを設定できるようになります。	○	○	—

\*1:対象複合機が限定されています。「FUJIFILM IWpro セットアップ」を利用するためには、事前に複合機にセットアップモジュールをインストールが必要です。 FUJIFILM Business Innovation Corp. 62

# その他の機能エンハンス ①

## ●文書管理：ドキュメントキャビネットの容量/登録件数のアラート通知

文書管理のドキュメントキャビネットに対して、キャビネットの容量や格納オブジェクト数のアラートメール機能が追加されました。キャビネットの使用量とオブジェクト数を1日1回定期的に確認し、しきい値を超えていた場合は指定した通知先にアラートメールを送信します。

管理メニュー:文書管理>基本設定>キャビネット/ドロワー>基本情報

更新日時 2025/08/25 10:52:59  
 使用量 10.0 GB (66.9%)  
 容量の上限 15.0 GB  
 アラート通知 通知しない  
 階層数の上限 10 階層

アラート通知  
 キャビネットの使用量とオブジェクト数を1日1回定期的に確認し、しきい値を超えていた場合は指定した通知先にアラートメールを送信します。

アラート通知  
 通知する

通知の条件  
 容量のしきい値 80%  
 オブジェクト数のしきい値 80%

通知先  
 ユーザーグループ ユーザーID 識別子  
 ユーザーグループ

- 通知条件  
 キャビネット容量のしきい値  
 使用済み容量：50/60/70/80/90%(固定)  
 オブジェクト数のしきい値  
 格納済オブジェクト数：50/60/70/80/90%(固定)
- 通知先  
 最大3件のテナントユーザー/グループの設定が可能

### 通知されるメール文面

このメールは、FUJIFILM IWproより送信しております。  
 本メールは送信専用メールアドレスから配信されています。  
 ご返信いただいてもご回答できませんので、ご了承ください。

キャビネットにて設定されているアラート通知機能により送信しております。

通知理由：キャビネットの使用容量が{しきい値}%を超えています。  
 キャビネット名：{キャビネット名}  
 キャビネットID：{キャビネットID}  
 容量の上限：{契約容量}  
 現在の使用量：{現在の使用量}

このアラートメールは、下記時刻の情報をもとに送信しました。  
 {確認時刻}

■対処方法  
 容量がしきい値を超えている場合、オブジェクトの整理やキャビネットまたはドロワーの容量の上限の引き上げを行ってください。  
 キャビネット管理画面  
 {https://data-management.fbiwpro.fujifilm.com/web/{オフィスID}/admin/page/cabinets/{キャビネットID}}

契約容量の追加が必要な場合には、FUJIFILM IWproの容量追加オプションの購入をご検討ください。  
 オブジェクト数がしきい値を超えている場合、オブジェクトの整理や新規にキャビネットを作成することをご検討ください。

■アラートメールの設定変更  
 アラートメールの送信停止や設定は、キャビネット管理画面より変更いただけます。  
 キャビネット管理画面  
 {https://data-management.fbiwpro.fujifilm.com/web/{オフィスID}/admin/page/cabinets/{キャビネットID}}

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 FUJIFILM IWpro

## ●ワークスペース：整数型・小数型属性の表示改善

整数型・小数型の属性値について、数値桁数を視認し易くするため、3桁区切り[,]表示に対応しました。

リスト表示および確認訂正(属性/明細項目)画面(\*1)の整数型・小数型属性の数値右寄せ3桁区切り表示になります。

入力編集時は「区切り記号なし」「区切り記号あり」のどちらの入力でも可能です。(区切り位置が異なる場合はエラーになります)  
 なお、csv出力時は区切り文字は出力されません。

\*1：属性編集画面や属性一括変更設定などは従来通り左寄せです。

### 確認訂正：属性

属性04	1,234,567
属性05	1 1 1 1 1
属性06	123,456,789
属性07	98,710,00786

### 確認訂正：明細

Product Name	Quantity
FUJIFILM IWpro Standard	5,000
FUJIFILM IWpro Print	30,000
weight	4,001.06

### リスト表示

Name	取引金額
PDF retry research for timeout error	123,456
PDF retry research for timeout error-00001	11,111
PDF TEST-00001	3,333,333,333
PPTX Webサイト-Photo-	



## その他の機能エンハンス ②

### ■ その他の変更

サービス	カテゴリ	エンハンス項目	エンハンス内容	備考
ワークスペース	機能改良	確認訂正で利用できるユーザー定義属性数の拡大	• 確認訂正画面で編集できるユーザー定義属性を最大20項目に拡大しました。	
	機能改良	読み取った属性値のハイライト	• 確認訂正画面で、AI抽出で抽出されてAIによる補完/補正が行われた明細属性値の読み取り位置のハイライトを改善しました。 ただし、補正内容によりハイライトされないこともあります。	
アナリティクス	機能改良	入金請求突合データの共通キー項目選択	• 分析メニュー「入金請求突合」利用時に、共通キー項目(入金データと請求データの対応関係を示す一意の列項目)を、入金データ/請求データのどちらからでも選択できるようになりました。	従来は請求データ列からの選択のみ



# 参考：クラウドストレージに対するFUJIFILM IWproの連携機能対応表

■ 各社クラウドストレージに対してFUJIFILM IWproの連携機能がサポートする連携先は下記の通りです。

※2025年12月現在

○：対応済 △：制限あり -：未対応

連携するクラウドストレージ		FUJIFILM IWpro機能			複合機アプリ			Capture/ワークスペース	ワークスペース
		業務別スキャン	ファクス仕分け	Capture	ルールからの出力・配信	書庫			
OneDrive	個人フォルダ	○	○	○	○	○			
	共有フォルダ	○	○	○	△(*2)	○			
Box(*1)	個人用フォルダ	○	○	○	○	○			
	コラボレーションフォルダ	○	○	○	○	○			
	外部コラボレーションフォルダ	○	○	○	○	○			
Google Drive	マイドライブ	○	○	○	○	—			
	共有フォルダ	○	○	○	○	—			
	共有ドライブ	○	○	○	○	—			
Dropbox	個人フォルダ	○	○	○	○	—			
	共有フォルダ	○	○	○	○	—			
	チームフォルダ	○	○	○	○	—			
SharePoint	ドキュメントライブラリ	○	○	○	○	—			
	ドキュメントライブラリ以外	—	—	—	—	—			
Working Folder	個人ドロワー/共有ドロワー	○	○	—	○	○			
	あんしんどロワー	○	○	—	—	—			
	エデビデンス管理ドロワー	○	○	—	—	○			
FUJIFILM IWpro	ワークスペース(ワークスペースやトレイ)	—	—	○	○	—			
	文書管理(ドロワー/フォルダ)	—	—	—	○	—			

※本機能を利用する場合、最新のFUJIFILM IWpro Device Setupを利用して各アプリモジュールを再設定してください。

※登録やプリントを行う場合、登録先フォルダーや文書に対する必要なアクセス権限などが必要です。

\*1：「FUJIFILM IWpro+Box連携」はBox社エコシステムソリューションとして登録されています。

\*2：共有されたフォルダーの上の階層にアクセス権が無いものは利用できません



## 2026年3月2日リリース

◆AIと対話しながらワークスペース上の文書群を検索する「AIチャット」(ワークスペース)

## ■ ワークスペース上の文書群に対して、ユーザーがAIと対話しながら文書検索ができる対話型AI検索機能「AIチャット」を提供しました。

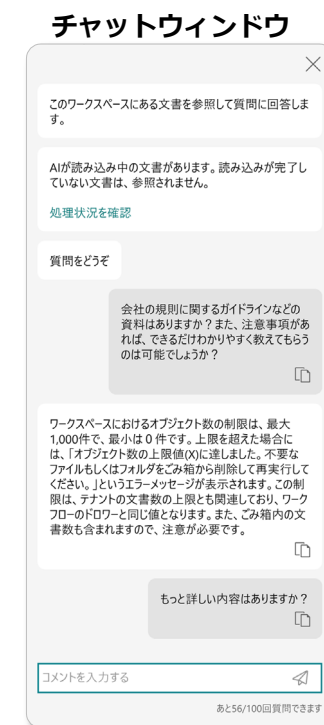
AIチャット機能は、生成AIを利用した対話型の検索機能です。ワークスペースに格納された文書群に対して、ユーザーからの質問(自然文の質問)により目的の文書を検索、要約された回答と該当ページへのリンクを検索結果として回答します。

これにより、検索キーワードの組み合わせ設定などのスキルやテクニックが無くても、誰でも簡単に文書の検索が可能です。また、検索結果を要約の形で提示することで、結果の妥当性や検索結果文書の閲覧判断を支援し、効率よく必要な文書や記述を見つけることができます。

- AIチャット機能は、Standard/Lightライセンスで利用可能なワークスペースの機能です。
- Standard/Lightライセンスの契約に、月当たり質問回数300回分が無償で付属します。  
※2026年5月31日までリリースキャンペーンとして質問回数を2000回/月(固定)に拡大提供中です。
- 質問の残回数は管理画面/チャットウィンドウで確認できます。回数を超過した場合はエラーになります。
- ユーザーは、ワークスペース右上の「AIチャット」ボタンから利用するワークスペースを選択して、そのワークスペースに格納された文書群に対する検索を行うことができます。
- AIチャット機能を有効化するワークスペースは1テナント当たり最大10ワークスペースです。有効化設定は、ワークスペース管理画面で設定します。
- AIチャットの検索利用は他のワークスペースから利用可能です。ただし、利用するワークスペースのアクセス権が必要です。
- 質問検索は対話型のチャット形式(チャットウィンドウ)で実行し、自然文で質問入力が可能です。検索結果は会話の回答として提示され、検索結果の回答要約と該当文書のページリンクを提示します。
- 文書リンクのクリックで、該当ページのプレビュー表示、ダブルクリックすると文書を開きます。回答文のコピーボタンを押すと回答の文章をコピーします。
- 検索は、AIチャット機能が有効になっているワークスペース直下に格納された文書が対象です。
- ワークスペース上に直接格納されている文書が対象で、フォルダ配下にある文書は検索対象になりません。
- 索対象となる文書は検索用のインデックスが作成されていることが条件です。

### ◆ 注意事項

- この機能は生成AIを利用しています。回答は生成AIにより生成されるため、誤りが含まれる可能性があります。
- 生成AIを利用していますが、お客様の文書から作成されたインデックスや入力した質問内容などは、AIの学習データとしては利用しません。(他のワークスペースや他のFUJIFILM IWproテナントのお客様の回答等に利用されることはありません)





**FUJIFILM**  
Value from Innovation